



PERSPIRATION



2013年

茨城大学陸上競技部 部誌

第8号

目次

I. 2013 年度シーズンを振り返って	1
II. 2013 年度活動報告	5
i) 大会後記	6
関東インカレ／千葉対校／関東甲信越／日本インカレ／国公立 23 大学対校／ 北関東五大学対校／三浜駅伝／荒川駅伝／国公立 23 大学対校駅伝／勝田全国マラソン	
ii) その他の主な競技会の結果	16
茨城県選手権／国民体育大会・その他	
iii) その他の活動	17
協力審判員／宇都宮大学・千葉大学・群馬大学・高崎経済大学合同合宿	
III. 2014 年度シーズンの抱負	18
IV. 2014 年度活動予定	21
V. 卒業・修了生より	22
VI. OB/OG 近況報告・現役部員へのメッセージ	30
VII. 記録集	36
茨城大学記録・男子／茨城大学記録・女子／2012 年度ランキング／対校戦順位一覧	
VIII. 部員名簿	40
編集後記・連絡先	41

I. 2013 年度シーズンを振り返って

主将反省

前主将 谷貝脩平

私は 2012 年の 10 月末に行われた北関東五大学対校戦後に前主将の伊藤から主将を受け継ぎ、2013 年の 10 月末に行われた北関東五大学対校戦をもって現主将の平沼に引き継ぎました。

主将を受け継いだ当初は、果たして自分は一年間主将を務めることができるのだろうか、とそればかり考えていました。いざ、チームを牽引する立場になってみると右も左も分からない自分がいたことを昨日のように懐かしく思います。しかし、自分が主将であることは変わらないため、自分なりにこの一年チームをどうしたいかを考えることにしました。そして、部員一人一人が「自律」するようにしたいと思い、実際に部のスローガンとしても掲げて一年間やっけていこうと思いました。運営が始まる前は正直先輩方におんぶにだっこでしたので、指示を仰げばそれでよいと考えていました。運営が始まってみると部をまとめることの難しさが身にしみてわかりました。自分なりに部をまとめることを考えていった結果、蟻の目、鷹の目という思考が大事であると思いました。部をマクロな視点とミクロな視点で見ることによりレベルアップに努めようと思いました。

冬期から夏期にかけての前半戦は、色々な失敗を繰り返すこととなり、チームに迷惑をかけてしまうことになりました。先輩方のアドバイスが心強かったです。また、今年度は千葉対校の主催でした。千葉対校を主催することによって普段の競技会の見えない部分をたくさん見ることができて非常に勉強になりました。競技会に数百人が関わって、その一人一人がよどみなく動くことで競技会は進行していくことがわかりました。後半戦に入ると、細かいミスはある一方で自分なりに部をまとめることのコツをつかみつつありました。しかし、情報の共有化が疎かになってしまうことがあったのは反省点です。

改めて一年間振り返ってみると、まだまだやり残したことが山ほどあるように感じます。主将として部のみんなに何ができたのかと問われれば、何ができたのでしょうか。答えは自分には分かりません。ただ、この先、茨大の陸上競技部の主将を務めたということは大きな自信になることは間違いなさそうです。

陸上部にいられる時間も一年を切ってしまいました。とにかく悔いがないように残りの時間を大切にして陸上部で過ごせることができたらいと思います。

主務反省

前主務 安田萌

昨年の北関東五大学対校戦で前主務の肥田壱から引き継ぎ、一年間主務として運営に携わってきました。自分が主務の仕事をきちんとできるかとても不安でしたが、次の北関東五大学で引き継ぎを行う時に自分が少しでも成長し、部のために何かできたと思えるような一年にしたいと思いました。

主務の仕事は主将のサポートと仕事をスタッフに割り振ることが主でしたが、スタッフ内での連携など最後まで上手くいかないことが多かったことが反省点です。主務の仕事から離れてみて、もっとこうすればよかったなど思うことはたくさんあります。

主務として一番大きな仕事は、千葉大学茨城大学対校陸上競技大会の主催でした。実際に運営してみて、一つの大会がたくさんの人の協力によって成り立っていると実感しました。また、快く審判の仕事を引き受けてくださる茨城陸協、OB・OGの方々や補助員をしてくれる高校生に感謝するとともに、地域との交流やOB・OGの方々との繋がりの大切さを改めて感じました。次の主催大会は再来年の千葉大学茨城大学対校陸上競技大会になるのでこの経験で得たものをしっかり下に繋げていきたいです。

この一年間、失敗したり悩んだりすることはたくさんありましたが、いつも応援に来てくださるOB・OGの方々、先輩・後輩、スタッフの皆に支えられて主務の仕事最後まで続けることができました。

これから最高学年になりひとつひとつの大会に「最後」がついてきます。悔いのないよう全力で進んでいきたいです。

短距離ブロックの反省

前短距離ブロック長 星耕平

今年の短距離は、「23 大学全種目入賞」「リレー日本インカレ出場」を目標に掲げ活動してきた。今シーズンを振り返ってみると、この目標をどちらも達成することができず、短距離全体として十分満足できる結果を残せた人は多くなかったように思う。自己ベストを更新したメンバーも数少なく、相変わらずけが人も多く、短距離全体として悔しいシーズンになってしまったように感じる。

今年の短距離の反省として、攻めの姿勢が足りなかったことが挙げられる。練習での競争意識が欠けていたり、怪我を意識しすぎて継続して練習を積んでいくことができなかつたりということが多く見られた。また、ブロック員の中の温度差が様々な面で見受けられた。もっともっとブロック内でコミュニケーションをとっていく必要があると感じた。

今年の活動方針は「自律」であったが、1 年間私が短距離ブロック長を務める上で、各々が考え、それを共有する機会を増やすということにポイントを置いてきた。練習の目的を逐一確認することや、練習中に動きを見て意見を言い合う機会を設けることができたのは良かった。しかし、自律を意識し、個人任せにする部分が多かったことは反省しなければならない。

今年は短距離から日本インカレに 2 名の選手が出場した。しかし、どちらも 4 年次である。主力であった 4 年次・院 2 年次が引退し、短距離が今まで以上の結果を残していくにはもっと必死に練習に取り組んでいく必要がある。今後は伊藤が中心となって活動していくが、同じ反省を繰り返さないようしっかりサポートしていきたい。

中長距離ブロックの反省

前中長距離ブロック長 大貫綾子

2013 年度の中長距離ブロックは、春に新入生 11 人を新たに向かえ、21 人という大人数での活動となりました。多くの 1 年次が入ってくれて勢いがついた中でのスタートでした。今年の目標は部の目標である「自律」のもと、ブロック員全員が自己ベスト、満足のいく結果を残すことでした。しかし振り返ってみると、自己ベストの更新が出来たメンバーは半分ほどでした。また、対校戦においては他大学に歯が立たず、点数をとることの出来るメンバーは 4 年次、1 年次の一部といつも決まっており、人数が多すぎて、点数のとれないブロックとなってしまいました。怪我人も多く出てしまいました。特に 1 年次に多く、一度治ってもぶり返してしまうなどと、満足のいく練習を積むことができないメンバーもいました。怪我は練習内容やケアなどで防ぐことが出来たものがほとんどで、怪我に対する意識の低さにより招いてしまったことと、反省しています。駅伝ではまだまだ若いチームであるということもあり、今年の実験をしっかり今後の糧にしていきます。

これからの中長距離に必要なものはなにか。中長距離ブロックに必要なものはみんなで意識を高め合い、目標を見据えて、計画的に練習していくことだと考えます。目先のことにとらわれずに目標のために今できる一番大事なことは何かを見極め、考え、それに伴った行動をしていくことが出来れば、中長距離ブロックは変わっていくと思います。何より、人数が多いからこそ、もっともっとみんなでいい方向に向かって進めば茨城大学陸上部の大きな力、原動力になれるはずです。偉大な 4 年次が抜けてしまうという厳しい現状を受け止めて、次にやってやるのは自分だ！という気持ちをみんながもって、強くなりたくです。

跳躍ブロックの反省

跳躍ブロック長 山内裕香

今年度の跳躍ブロックは4月に宮本、堀尾、木村が加わり、総勢9名で活動しました。

まず競技結果を振り返ると、関東インカレで4年次山口が8位、2年次沖崎が7位、日本インカレで院2年次遠藤が7位。遠藤は国体にも出場し8位入賞と、大きな試合での活躍も多くありました。また自己ベスト記録も多く出て、とても嬉しく思います。

今シーズン全体を振り返ると、最後の年である先輩方に引っ張られた1年間だったと思います。フィールドで勝つという目標にも届かず、ブロック全体として、「あと1歩及ばない」という結果が多くみられました。今まで勝っていた試合にも手が届かなくなり、4年生、院生の力に頼っていたものが明確になりました。昨シーズンは1番手、2番手の選手が得点を取っていたのと変わり、今シーズンは1番手しか得点が取れなくなっていました。また、昨シーズンでも反省がありました。男子の力不足が目立ちました。シーズンの後半は、ブロックを盛り上げるためにどうしたらいいか考えるようになりました。ブロック全員で、個人の目標とブロックの目標を明確にし試合に臨むことができるようになり、一つ一つの試合を大事に出来たと思います。

投擲ブロックの反省

投擲ブロック長 荒井啓輔

昨年、前ブロック長星野から投擲ブロック長を引き継いでから早くも1年と少しが経ちました。投擲ブロックは4月に新入生の友常が加わり、総勢6名で活動してきました。

今シーズンの反省としては、目標としていた日本インカレ出場者を出すことができなかったことと、狙うべき大きな試合で力を発揮できなかったこと、この二つが挙げられます。

日本インカレ出場者を出すことは昨年も達成できなかった目標で、今年こそはと意気込んでいましたが、またもあと1歩、標準を切ることはできませんでした。しかし、ブロック員全員が自己ベストを更新し、競技力を高めることができました。また、狙うべき試合で結果を出すことができなかったのは特にシーズン後半に目立ちました。上記のように全員が自己ベストを更新したものの、大きな大会での自己ベストは少なく、ここ一番という大舞台での弱さを実感しました。後半の失速は主にシーズン中の体力練不足が原因だと思われます。今後の練習では改善に努めたいと思います。

投擲ブロックは主力だった先輩方が次々と引退し、正直言ってブロック全体の競技力が低下していると言わざるを得ません。来年は「関東インカレ出場」と「各対校戦上位入賞」を目標とし、強い投擲ブロック復活を目指して精進していきます。最後に私事になりますが来年こそは私も試合に出場し、試合を盛り上げていきたいと思います。

マネージャーブロックの反省

前マネージャーブロック長 萩野谷安己帆

今年度マネージャーブロックは、4年次2名、3年次1名、1年次1名で活動してきました。今年目標が「自律」ということで、個々人が精神的に自律できるよう、活動に取り組みました。活動の中には、選手の方との連携不足やマネージャーの視野の狭さなど、未熟さを感じることもありました。しかし、常に向上する気持ちを持ち、この部を支えているという誇りを持って、活動できたと思っています。私自身の力不足で、ブロックに迷惑をかけてしまったこともありますが、1人1人が役割を見つけ、自律した活動ができていたと感じます。また、私たちの活動が、どれだけ選手の方の支えとなっているかどうかは分かりませんが、一緒に活動できたことを本当に嬉しく思います。

今後、マネージャーブロックは、今よりも更に成長していくブロックで、若い力がどんどん伸びてくるブロックです。その成長に、選手の方も加わっていただき、ブロック間を越えた信頼を築いていければと考えています。まだまだ、勉強不足ではありますが、今後もマネージャーブロックをよろしく願います。

日立ブロックの反省

前日立ブロック長 本圖理彦

今年度の日立ブロックは総勢9人ということで、各々が各自で練習をするという状況でも、競技場に足を運べば、誰かしらは練習している、という日が多かったです。やはり仲間の顔を合わせて練習することはモチベーションを維持するためにも日立ブロックでこそ大切にしなければならないことだと、この1年間、ブロック長を務めて思いました。大事なことなので初めに述べさせていただきます。

今年度は予想通りに2年次の活躍が競技結果や雰囲気づくりなどに表れました。関東インカレの入賞や日立版「総会」の開始は2年次による功績です。来年度は変革をもたらした2年次がさらに成長してくれるように願っています。

就任当初に申し上げました通り、私のブロック長としてのポリシーは、自律を促すことで、あれこれ指示することではありませんでした。このことがいい意味で作用し、各人が自分の考えを大切に、必要なことを自分で考える力を鍛えられたと信じています。

日立ブロックでは特に、部活を学校生活の中心と位置付けてしまっは、いろいろと破綻してしまいます。あくまで「部活動」であることを肝に命じ、思慮深く、取り組んでいって欲しいというのが、全体を通しての反省ともなるべきことです。

最後に、日立ブロックは来年度こそ、未だかつてない活躍をすると思っています。私は役職を退きますが、バリバリ現役です。私我先陣をきって日立ブロックを盛り上げていきますので、温かく見守っててください。これからも日立ブロックをよろしく願います。

II. 2013 年度活動報告

2013 年度活動報告

日程	大会名	場所
5/3	第 29 回静岡国際陸上競技大会	エコパスタジアム(静岡)
5/18~19, 25~26	第 92 回関東学生陸上競技対校選手権大会 (関東インカレ)	国立競技場・日本大学陸上競技場(東京) 日産スタジアム(神奈川)
6/21~23	2013 日本学生陸上競技個人選手権大会	平塚市総合公園平塚競技場(神奈川)
7/5~7	第 67 回茨城県陸上競技選手権大会	笠松運動公園陸上競技場(茨城)
8/3	第 48 回千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦	笠松運動公園陸上競技場(茨城)
8/23~25	第 86 回関東陸上競技選手権大会	小瀬スポーツ公園陸上競技場(山梨)
8/24~25	第 44 回東北陸上競技選手権大会	ND ソフトスタジアム山形(山形)
8/29~30	第 62 回関東甲信越大学体育大会	三ツ沢公園陸上競技場(神奈川)
9/6~8	第 82 回日本学生陸上競技対校選手権大会 (日本インカレ)	国立競技場・日本大学陸上競技場(東京)
9/15~16	第 24 回関東学生新人陸上競技選手権大会	国立競技場(東京)
9/22~23	第 45 回関東理工系学生対校陸上競技大会	鴻巣市立陸上競技場(埼玉)
9/29	第 19 回関東大学女子駅伝対校選手権大会	印西市千葉ニュータウン周回コース(千葉)
10/4~8	第 68 回国民体育大会	味の素スタジアム(東京)
10/12~14	第 28 回国公立 23 大学対校陸上競技大会	町田市立陸上競技場(東京)
10/27	第 64 回北関東五大学対校陸上競技大会	上尾運動公園陸上競技場(埼玉)
12/1	第 68 回三浜駅伝競走大会	ひたちなか(那珂湊)
12/15	第 14 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会	荒川河川敷(東京)
12/21~23	宇都宮・千葉・群馬・高崎経済大学合同冬合宿	笠松運動公園陸上競技場・阿字ヶ浦海岸
1/18	第 11 回国公立 23 大学対校駅伝大会	熊谷スポーツ文化公園内(埼玉)
1/26	第 62 回勝田全国マラソン	ひたちなか
3/13~18	春期強化練習	笠松運動公園陸上競技場(茨城)
3/16	第 23 回楮川駅伝競走大会	楮川ダム(水戸)
3/27~28	関東学生春季オープン陸上競技会	上柚木公園陸上競技場(東京)



関東甲信越体育大会

i) 大会後記

第92回関東学生陸上競技対校選手権大会

(2013/5/18～19、5/25～26 国立競技場、日本大学陸上競技場：東京、日産スタジアム：神奈川)

今年度の関東インカレは、2020年度の東京オリンピックのため最後の国立競技場となりました。昨年度に比べて出場メンバーが少なくなりましたが、4年次伊藤(太)が3年連続100m、200mで入賞、4年次小林が昨年度に続いてハンマー投で6位入賞、4年次山口が七種競技で8位入賞、砲丸投で自己ベストと最高学年がチームを牽引しました。また、2年次近藤がやり投で5位入賞、2年次沖崎が棒高跳で7位入賞と続きましたが、出場した選手の誰もが実力を出しきることができたとはいえない、大きな課題の残るシーズン初戦となりました。

来年度は1人でも多くの選手が関東インカレの標準を切り、そしてしっかりと実力を発揮できるよう精進を重ねていきます。

(文責：近藤顕二)

関東インカレ結果(出場者)

種目	記録	氏名	順位
男子 100m 予選	10.77(-2.1)	伊藤 太一	
男子 100m 決勝	11.14(-3.8)	伊藤 太一	6位
男子 200m 予選	21.48(+3.5)	伊藤 太一	
男子 200m 準決	21.63(+1.2)	伊藤 太一	
男子 200m 決勝	21.43(+2.6)	伊藤 太一	7位
男子 400mH 予選	58.04	川部 優太	
男子 4×100mR 予選	42.47	伊藤(林)・伊藤(太)・柴・沖崎	
男子 4×100mR 準決	41.95	伊藤(林)・伊藤(太)・柴・沖崎	
男子 4×400mR 予選	3.22.98	柴・福田・沖崎・川部	
男子 棒高跳 決勝	4m20	沖崎 一也	7位
男子 ハンマー投 決勝	46m57	小林 朋寛	6位
男子 やり投 決勝	59m95	近藤 顕二	5位
女子 5000m 決勝	16.44.80	黒澤 夏楠	23位
女子 10000m 決勝	34.54.73	黒澤 夏楠	16位
女子 棒高跳 決勝	3m10	山内 裕香	12位
女子 ハンマー投 決勝	34m42	星野 千恵	17位
女子 七種競技 決勝	4657点	山口 真未	8位



伊藤(200m)



第 48 回千葉大学茨城大学対校陸上競技大会

(2013/8/3 笠松運動公園陸上競技場：茨城)

本大会は、3年ぶりに茨城県の笠松運動公園陸上競技場で開催されました。男女そろっての総合優勝を目指し挑むなか、最上級生の活躍が目立つ大会となりました。4年次伊藤(太)が100m、200m、肥田埜が400m、山口が走幅跳、院2年次遠藤の三段跳で大会新記録を更新し、大いに大会を盛り上げました。結果として男女総合優勝を果たすことが出来ました。しかし、男子フィールドでは優勝数の差で優勝を逃してしまい、悔しさの残る大会になりました。

茨城陸協の皆さんや、OB・OGの先輩方の協力をいただき、良い環境の中で円滑な競技進行を行うことが出来ました。本当にありがとうございました。こういった協力を忘れることなく、今後も邁進していきます。

来年は千葉にて大会が開催されます。来年も男女で総合優勝を目標に、チーム一丸となって頑張っていきます。

(文責：星耕平)

千葉対校結果(優勝者)

種目	記録	氏名
男子 100m	10.61(+0.9)	伊藤 太一
男子 200m	21.53(0.0)	伊藤 太一
男子 800m	2.01.00	小澤 晃太郎
男子 1500m	4.14.86	加藤 俊介
男子 110mH	15.13(-1.0)	星 耕平
男子 4×100mR	41.92	沖崎・伊藤(太)・星・宮本
男子 4×400mR	3.25.08	沖崎・柴・宮本・福田
男子 棒高跳	4m20	青柳 達也
男子 走幅跳	6m32(+1.1)	近藤 顕二
男子 やり投	56m96	近藤 顕二
女子 200m	25.54(-1.4)	肥田埜里枝
女子 400m	56.97	肥田埜里枝
女子 1500m	4.41.82	黒澤 夏楠
女子 100mH	15.17(+0.2)	山口 真未
女子 4×100mR	49.24	酒井・肥田埜・山屋・遠藤
女子 走高跳	1m55	山口 真未
女子 走幅跳	5m72(+0.1)	山口 真未
女子 三段跳	12m32(-0.3)	遠藤 園子
女子 砲丸投	9m14	星野 千恵
女子 円盤投	35m63	星野 千恵
女子 やり投	37m98	安田 萌

第 62 回関東甲信越大学体育大会

(2013/8/29～30 三ツ沢公園陸上競技場：神奈川)

第 62 回関東甲信越大学体育大会が神奈川県三ツ沢公園陸上競技場で開催されました。天候にも恵まれ、各々存分に日頃の成果を発揮することができました。中でも、男子 100m では 4 年次伊藤(太)、女子 5000m では 4 年次黒澤が優勝するなど、4 年次の活躍が頼もしく感じられました。総合成績は女子 3 位、男子 6 位という結果でした。先輩方が抜けた分がしっかりカバーできるように、来年度は今年度以上の活躍を目指します。(文責:酒井くるみ)

関甲信結果(入賞者)

種目	記録	氏名	順位
男子 100m	10.79(-0.7)	伊藤 太一	1 位
男子 200m	22.47(-1.9)	宮本 秀斗	6 位
男子 400m	50.38	福田 智仁	7 位
男子 800m	2.05.94	小澤晃太郎	8 位
男子 1500m	4.13.96	加藤 俊介	8 位
男子 110mH	15.27(-1.8)	星 耕平	5 位
	15.74(-1.8)	本圖 理彦	7 位
男子 400mH	56.03	川部 優太	5 位
	58.75	星 耕平	8 位
男子 4×100mR	41.91	沖崎・伊藤・星・宮本	3 位
男子 4×400mR	3.21.62	沖崎・宮本・柴・川部	6 位
男子 棒高跳	4m00	沖崎 一也	2 位
男子 ハンマー投	42m03	小林 朋寛	4 位
男子 やり投	55m34	近藤 顕二	4 位
女子 200m	25.46(+0.9)	肥田埜里枝	2 位
女子 400m	1.01.89	鈴木 杏奈	7 位
女子 1500m	4.50.28	木村 世奈	3 位
	5.01.03	大貫 綾子	8 位
女子 5000m	17.25.61	黒澤 夏楠	1 位
	18.23.90	木村 世奈	3 位
	19.37.47	高野 美幸	7 位
女子 100mH	15.19(-1.4)	山口 真未	6 位
女子 4×100mR	49.32	酒井・肥田埜・加藤・山屋	5 位
女子 4×400mR	4.02.05	鈴木・酒井・加藤・山屋	3 位
女子 走高跳	1m50	宮本 蘭子	4 位
女子 走幅跳	5m90(+3.0)	山口 真未	2 位
女子 砲丸投	8m62	安田 萌	8 位
女子 円盤投	28m99	安田 萌	7 位
	22m67	友常 結衣	8 位
女子 やり投	40m47	安田 萌	2 位
	37m49	友常 結衣	4 位

第 82 回日本学生陸上競技対校選手権大会

(2013/9/6~8 国立競技場、日本大学陸上競技場：東京)

今年度は、男子1名(4年次伊藤(太))、女子5名(院2年次遠藤、4年次黒澤、肥田埜、山口、2年次山内)の計6名が出場しました。

伊藤は、3年連続で100mへの出場となりました。予選通過こそ叶いませんでしたが、短距離男子のエースとして堂々と戦うことができたと思います。短距離女子のエース肥田埜は、200mと400mの二種目への出場となりました。春先からの怪我に悩まされ、苦しんだシーズンでしたがどちらもセカンドベストで走り、あきらめないこと、努力することの大切さを私たちに示してくれました。女子10000mへ出場した黒澤は、目標タイムや順位には届きませんでしたが、これまでと違い万全の状態ですスタートラインに立つことができたと本人も振り返っています。そして、去年に引き続き棒高跳に出場した山内は、昨年度よりも成長が感じられる試合となりましたが、目標達成には至らず、悔しい結果となりました。自分の殻を破ることが来シーズンの課題となりそうです。昨年度は優勝を果たした遠藤でしたが、今年度は7位と落ち込んでしまいました。しかし2年連続入賞を果たしたことは評価できることだと思います。山口は、本大会で大幅に自己ベストを更新し、茨大記録を樹立しました。シーズンを通して怪我に悩まされ不安の中での出場でしたが、7種目全てを全力で戦い抜きました。しかし惜しくも入賞を逃し、悔しさも味わった大会となりました。

今年度の出場者は、山内を除いて全員が最終学年であり、上級生の活躍が目立ちました。来シーズンのチームとしての課題は一人でも多くの日本インカレ出場者を輩出することだと思います。チーム一丸となってさらなるレベルアップに取り組んでいきたいと思っています。(文責：遠藤園子)

日本インカレ結果(出場者)

種目	記録	氏名	順位
男子 100m 予選	10.66(-0.3)	伊藤 太一	
女子 200m 予選	25.11(-0.9)	肥田埜 里枝	
女子 400m 予選	56.67	肥田埜 里枝	
女子 10000m 決勝	34.39.00	黒澤 夏楠	
女子 棒高跳 決勝	3m20	山内 裕香	
女子 三段跳 決勝	12m49(-0.7)	遠藤 園子	7位
女子 七種競技 決勝	4934点	山口 真未	



第 28 回国公立 23 大学対校陸上競技大会

(2013/10/12~14 町田市立陸上競技場、秋留台公園陸上競技場：東京)

今年度の第 28 回国公立 23 大学対校陸上競技大会は 10 月 12 日から 3 日間、電気通信大学を主催校として町田市立野津田公園の町田市立陸上競技場で行われました。今大会は男子総合 5 位、女子総合優勝を目標に大会に臨みました。また、今年度から福島大学が復帰し 23 大学での対校戦となり、男女ともに激戦が予想される大会となりました。

総合の部で男子 10 位、女子 5 位と目標には遠く及ばない結果となりました。個人結果を見てみると、優勝 3 種目、入賞が 20 種目、自己ベストが 4 人と素晴らしい結果を残しました。その中でも 4 年生以上の活躍が多く、部活全体に大きな勢いをもたらしてくれました。

今大会は、昨年度の結果からみると男女とも順位を大きく落とす結果となりましたが、これが今の茨城大学の實力だということです。一人一人が明確な目標を持ち、これからの競技に真摯に取り組んでいくことが重要だと思います。(文責：伊藤太一)

23 大学対校結果(入賞者)

種目	記録	氏名	順位
男子 100m	10.87(-1.0)	伊藤 太一	3 位
男子 200m	21.33(+2.3)	伊藤 太一	2 位
男子 4×100mR	41.27	伊藤(林)・伊藤(太)・宮本・沖崎	4 位
男子 棒高跳	4m20	青柳 達也	7 位
	4m10	沖崎 一也	8 位
男子 ハンマー投	44m51	小林 朋寛	6 位
男子 やり投	58m60	近藤 颯二	5 位
女子 1500m	4.42.97	黒澤 夏楠	5 位
女子 5000m	16.57.09	黒澤 夏楠	1 位
	18.05.54	木村 世奈	8 位
女子 4×100mR	48.56	酒井・山屋・加藤・遠藤	6 位
女子 4×400mR	3.58.08	肥田埜・山屋・鈴木・酒井	5 位
女子 棒高跳	3m20	山内 裕香	2 位
女子 走幅跳	5m50(+0.9)	遠藤 園子	7 位
女子 三段跳	12m80(+0.7)	遠藤 園子	2 位
女子 円盤投	36m76	星野 千恵	3 位
女子 ハンマー投	42m45	星野 千恵	1 位
	20m48	友常 結衣	6 位
女子 やり投	35m88	友常 結衣	8 位
女子 七種競技	4645 点	山口 真未	2 位



星野(表彰)



第 64 回北関東五大学対校陸上競技大会

(2013/10/27 上尾運動公園陸上競技場：埼玉)

今年度の北関東五大学対校陸上競技大会は、埼玉県の上尾運動公園陸上競技場にて開催されました。今年度は国立 23 大学対校陸上競技大会の 2 週間後という厳しいスケジュールの中、男子総合 3 位、女子総合 1 位という結果を残しました。また、MVP に 4 年次肥田埜が選ばれました。この大会は、女子は毎年のように確実に優勝という成績を残すのに対して、男子は安定して成績を残すことができていません。来年度は男子チームも一丸となって、男女総合優勝を目指して、日々精進していきたいと思ひます。また、得点源となっている要の 4 年次や院 2 年次の先輩方が抜けてしまう穴を埋めるためにも、シーズンに入る前から今度は自分が活躍するんだという意志を持たなくてはなりません。

本大会を境に、4 年次や院 2 年次の先輩方が引退し、運営スタッフの交代が行われました。偉大な先輩方が去り、残された我々が自律(自立)できたかどうかは、来シーズンになれば分かることです。OB や OG としてこの先お世話になるときに、恥ずかしい思いをしないように、運営面や競技面、生活面などでより一層の磨きをかけていきたいと思ひています。(文責：本圖理彦)

五大学対校結果(優勝者)

種目	記録	氏名
男子 100m	10.95(-2.6)	伊藤 太一
男子 110mH	15.86(-3.2)	本図 理彦
男子 やり投	60m64	近藤 顕二
女子 200m	26.19(-2.3)	肥田埜里枝
女子 400m	58.58	肥田埜里枝
女子 800m	2.28.64	大貫 綾子
女子 1500m	4.52.73	黒澤 夏楠
女子 3000m	10.14.55	黒澤 夏楠
女子 4×100mR	48.65	酒井・肥田埜・加藤・遠藤
女子 4×100mR	4.05.48	鈴木・酒井・山屋・肥田埜
女子 走幅跳	5m21(+1.3)	遠藤 園子
女子 三段跳	9m39(+3.8)	宮本 蘭子
女子 ハンマー投	38m36	星野 千恵

第 68 回三浜駅伝競走大会

(2013/12/1 ひたちなか)

12月1日に那珂湊港を発着点にして三浜駅伝競走大会が行われ、男子2チームが出場しました。

男子Aチームは一般一部だけではなく総合での優勝を目指しましたが、最長区間の2区と後半2区間で上位のチームとの力の差が出てしまい、一般一部で3位、総合で4位、Bチームも長距離を専門にやっている立場で、いくつもの消防のチームに負けてしまい、共に悔しい結果となりました。

しかし、1年次が主体の若いチームなので、来年以降にこの悔しさを晴らしてほしいと思います。棄権という形になってしまった女子チームも来年に向けて練習に打ち込んでほしいと思います。(文責：加藤俊介)

三浜駅伝結果(33.9km) 一般男子一部 3位

	1区(6.1km)	2区(7.5km)	3区(3.3km)	4区(6.8km)	5区(4.5km)	6区(5.7km)
氏名	加藤 俊介	藤井 駿丞	小澤晃太郎	山本 智晴	柳町 直	平塚 悠太
区間	18.41	25.31	10.02	21.52	15.20	18.39
順位	(区間1位)	(区間6位)	(区間1位)	(区間2位)	(区間3位)	(区間4位)
総合	18.41	44.12	54.14	1.16.06	1.31.26	1.50.05

一般男子二部 8位

	1区(6.1km)	2区(7.5km)	3区(3.3km)	4区(6.8km)	5区(4.5km)	6区(5.7km)
氏名	菊池 直人	金田 祐輔	佐々木一樹	長谷川大輔	内田 拓人	斎藤 圭介
区間	19.57	27.49	12.03	23.28	15.47	18.41
順位	(区間5位)	(区間37位)	(区間26位)	(区間7位)	(区間7位)	(区間2位)
総合	19.57	47.46	59.49	1.23.17	1.39.04	1.57.45

第 14 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会

(2013/12/15 荒川河川敷：東京)

この大会には、男子対校の部、女子対校の部ともに1チームずつ出場し、茨城大学として計2チーム出場しました。男子オーダーは1区から、加藤、小澤、山本、平塚、菊池、藤井で臨み、合計タイムは2時間20分05秒で14位でした。一年生中心のチームで望みましたが去年の記録を大きく上回る結果となりました。目標としていた18分切り、1桁順位には及びませんでした。最後まで1桁を狙える位置、と良い勝負ができました。女子オーダーは1区から、黒澤、荒井、高野、木村、大貫で臨み2時間4分56秒で優勝1位でした。メンバーもそろい茨城大学としての出場は2008年度ぶりでした。序盤からいい流れで黒澤の MVP 受賞をはじめ全員が区間賞、という良い結果を残すことができました。男女ともに課題もあがり、今後につながる良い経験になりました。風もある中でのレースでしたが、500mおきに聞こえてくる部員の皆からの声援がとても大きな力となり選手の背中を押してくれました。部員全員で大会に臨むことができました。(文責：大貫綾子)

荒川駅伝男子結果(42.195km) 総合順位 14 位

	1区 (10km)	2区 (3km)	3区 (8km)	4区 (8km)	5区 (5km)	6区 (8.195km)
氏名	加藤 俊介	小澤晃太郎	山本 智晴	平塚 悠太	菊池 直人	藤井 駿丞
区間	33.03	9.22	26.15	27.08	16.29	27.48
順位	(区間 21 位)	(区間 7 位)	(区間 12 位)	(区間 16 位)	(区間 9 位)	(区間 16 位)
総合	33.03(21 位)	42.25(19 位)	1:08.40(16 位)	1:35.48(16 位)	1:52.17(14 位)	2:20.05(14 位)

荒川駅伝女子結果(34km) 総合順位 1 位

	1区 (10km)	2区 (3km)	3区 (8km)	4区 (8km)	5区 (5km)
氏名	黒澤 夏楠	荒井 芽衣	高野 美幸	木村 世奈	大貫 綾子
区間	33.41	10.58	30.56	29.49	19.35
順位	(区間 1 位)	(区間 1 位)	(区間 1 位)	(区間 1 位)	(区間 1 位)
総合	33.41(1 位)	44.39(1 位)	1:15.35(1 位)	1:45.24(1 位)	2:04.59(1 位)



中長距離ブロック

第 11 回国公立 23 大学対校駅伝大会

(2014/2/18 熊谷スポーツ文化公園内：埼玉)

第 11 回国公立 23 大学対校駅伝大会が埼玉県熊谷市の熊谷スポーツ文化公園で開催されました。

結果は男子 17 位、女子 2 位でした。女子は目標であった優勝には届きませんでしたが、部員の皆からの力強い大きな声援を力に、一人一人が今の全力を出せたと思います。全員で心をひとつに臨むことができました。(文責：黒澤夏楠)

23 大学対校駅伝男子結果 (38.58Km) 総合順位 17 位

	1 区 (9.72km)	2 区 (3.14km)	3 区 (7.69km)	4 区 (5.17km)	5 区 (5.17km)	6 区 (7.69km)
氏名	山本 智晴	平塚 悠太	内田 拓人	小澤晃太郎	加藤 俊介	菊池 直人
区間	32.33	10.02	27.22	17.20	16.55	26.42
順位	(区間 18 位)	(区間 13 位)	(区間 17 位)	(区間 15 位)	(区間 10 位)	(区間 17 位)
総合	32.33(18 位)	42.35(16 位)	1:09.57(17 位)	1:27.17(17 位)	1:44.12(17 位)	2:10.54(17 位)

23 大学対校駅伝女子結果 (16.62Km) 総合順位 2 位

	1 区 (5.17km)	2 区 (3.14km)	3 区 (3.14km)	4 区 (5.17km)
氏名	木村 世奈	高野 美幸	荒井 芽衣	黒澤 夏楠
区間	18.57	11.35	11.27	17.39
順位	(区間 6 位)	(区間 5 位)	(区間 3 位)	(区間 1 位)
総合	18.57(6 位)	30.32(6 位)	41.59(4 位)	59.38(2 位)



平塚(男子 2 区)



荒井(女子 3 区)



黒澤(女子 4 区)

第 62 回勝田全国マラソン

(2014/01/26 ひたちなか)

1月26日に第62回勝田全国マラソンが開催されました。院2年次が10kmに、4年次がフルマラソンに出場しました。また、多くのOB・OGの先輩方が参加、応援に駆けつけてくださいました。

当日は雨が予想されていましたが、暖かな晴天の下スタートすることができました。3位に入賞した木村をはじめ、それぞれが持つ力を振り絞って走りました。ゴールまでの道のりには途中で足がつかったり、関門をぎりぎり突破したりと、様々なドラマがありました。私たちを支えてくれたのは絶えず応援の声をかけてくださるたくさんの地域の方、5km毎に待っていてくれる仲間が存在でした。応援してくれる人、一緒に走ってくれる人がいたからこそ走ることができました。

私たち4年次・院2年次にとって、卒業直前に茨城大陸上部への感謝の想いを改めて強く感じた一日となりました。卒業してからもこの部との温かい繋がりを大切にしていきたいです。(文責：宮岡仁美)

勝田全国マラソン結果

男子フルマラソン 39歳以下 (3776人中)					
氏名	記録	順位	氏名	記録	順位
加藤 俊介 (4)	04:15.18	1850	川部 優太 (4)	05:36.59	3419
齋藤 圭介 (4)	04:45.47	2511	柴 俊博 (4)		完走
城石 俊朗 (4)	04:59.45	2699	伊藤 太一 (4)		
女子フルマラソン 39歳以下 (623人中)					
木村 世奈 (4)	02:54.18	3	星野 千恵 (4)		完走
黒澤 夏楠 (4)	03:10.57	15	山屋 瑛美 (4)		完走
宮岡 仁美 (4)		完走			
男子10Km 39歳以下 (1916人中)					
松村 俊 (M2)	01:00.08	1340			
女子10Km 39歳以下 (1149人中)					
遠藤 園子 (M2)	01:15.06	931			



集合写真

ii) その他の主な競技会の結果

茨城県選手権(2013) 8位入賞者

種目	記録	氏名	順位
男子 100m	10.84(-2.2)	伊藤 太一	2位
男子 110mH	15.33(-2.2)	星 耕平	5位
男子 4×100mR	42.08	沖崎・伊藤(太)・伊藤(林)・宮本	1位
男子 4×400mR	3.21.97	宮本・福田・伊藤(林)・柴	7位
男子 棒高跳	4m30	青柳 達也	3位
	4m00	堀尾 佳希	7位
男子 三段跳	13m46(+0.2)	沖崎 一也	8位
男子 やり投	60m81	近藤 顕二	7位
男子 十種競技	4522点	木村 大介	5位
女子 100m	12.83(-2.2)	肥田埜里枝	7位
女子 5000m	17.09.63	黒澤 夏楠	3位
女子 10000m	36.26.36	黒澤 夏楠	2位
	38.04.28	木村 世奈	3位
女子 100mH	15.92(-3.3)	酒井くるみ	5位
女子 4×100mR	49.46	酒井・肥田埜・鈴木・山屋	2位
女子 4×400mR	3.56.81	鈴木・酒井・山屋・肥田埜	2位
女子 棒高跳	3m20	山内 裕香	1位
女子 円盤投	36m80	星野 千恵	7位
女子 ハンマー投	43m63	星野 千恵	4位
女子 やり投	38m44	友常 結衣	8位



川部(400mH)



小澤(800m)

その他の競技会(入賞者のみ記載)

大会名	日時	種目	記録	氏名	順位等
国民体育大会	10/6	女子 三段跳	12m60(+1.4)	遠藤 園子	8位
東北選手権	8/24	女子 三段跳	12m25(-0.2)	遠藤 園子	1位
宮城県選手権	7/13	女子 三段跳	12m18(+0.8)	遠藤 園子	1位

iii) その他の活動

協力審判員

茨城大学陸上競技部は、競技者として活動するだけでなく、協力審判員としても陸上競技に関わっています。審判員の活動を通して、普段私たちが出場する大会や記録会が多くの人の力によって成り立っていることが実感できました。

いつもお世話になっている審判員や先生方にこのような場で感謝の気持ちを行動で表すことが大切ではないかと思います。今後も協力審判員を通して陸上競技に関わり、競技者としてもより成長していきたいと思います。(文責：村山靖真)

主な審判員活動の内容

跳躍審判, 投擲審判, 監察員, 周回記録員, 風力計測員, 写真判定員, 記録員, 競技者係, 出発係, 光波計測員

2013年度審判補助員活動一覧

月日	大会名
5/3	中学記録会
6/8	中学記録会
6/15	中学記録会
6/29, 30	全日本中学通信陸上競技大会
7/5~7	茨城県陸上競技選手権大会
7/13	総合体育大会陸上競技大会
8/29, 30	関東甲信越大学体育大会
9/16	中学新人記録会
9/29	笠松スポーツフェスティバル陸上記録会
10/12~14	第28回23大学対校陸上競技大会
9/29	笠松スポーツフェスティバル陸上記録会

冬合同合宿

12月21日~23日にかけて、阿字ヶ浦クラブ・笠松運動公園陸上競技場・阿字ヶ浦海岸にて冬合宿が行われました。1日目は、県内の高校生を交えて陸上競技場で合同練習を行い、2日目は阿字ヶ浦の砂浜や近くの道路を利用した練習、3日目は全部ブロック合同でエンドレスリレーを行うなど、普段とは異なる環境、メンバーに刺激を受けつつ充実した練習を積むことができました。今年も茨城大学、宇都宮大学、千葉大学、群馬大学、高崎経済大学の5大学での合宿でした。練習中、さらに練習後にわたりお互いに交流を深める良い機会となりました。3日間を通じて部員みんながとても高いモチベーションで臨めた有意義な合宿でした。今回参加した大学とは、来シーズンも対校戦で顔を合わせることになるので、切磋琢磨して互いに高め合いたいと思いました。(文責：谷貝脩平)

Ⅲ. 2014 年度シーズンの抱負

主将抱負

主将 平沼清一

今年は「Change」をテーマとして、部員を木に見立てた絵を描きました。部の伝統や個々の持っている信念など、根元となる部分は変えずに、先生方、チームからの刺激やエネルギーをもとに、競技力はもちろん、人間性をより大きく成長させる。という意味を込めています。練習や生活に「慣例」としてよくわからない決まりがあると、それにしがたって単調な内容となってしまいます。また、無意識に作っている自分のルールに縛られていることに、自分自身では気づきにくいと思います。日々枝葉となる部分を、お互いに指摘し、また、先生方の力を借りて、少しずつ変えていくことで、部員やチームにとって、よりよい「Change」が訪れるよう、部の雰囲気や環境を作っていきます。

環境を変えられる人というのは、情熱を持つ人だと思います。このエネルギーを持つ人は、この陸上部に限らず、社会のどんな場面でも活躍できると思います。チームの一人一人が持つ情熱を見逃さず、サポートしていきたいです。

また、今年は主催する対校戦がありませんが、OB・OGの皆様を初め、関係者の方々には、何かとお世話になると思います。応援のほどよろしくをお願いします。

主務抱負

主務 加藤佑実

主務を引き継ぎ、数ヶ月が経ちました。主務としての最初の仕事では、なかなかスムーズにいかず、自分に一年間主務が務まるのか不安を感じています。それでも自分で引き受けたからには、責任をもって全うしたいと思います。

今年は主催となる大会がありません。例年とは異なる年だからこそ、より“チーム”というものに目を向け、部活がより良くなるような運営・環境づくりに取り組みたいと考えています。先生方、スタッフの仲間、部員一人ひとりとコミュニケーションを取りながら、競技面だけでなく、人間的成長も目標に頑張りたいと思いますので、一年間よろしくをお願いします。

短距離ブロックの抱負

短距離ブロック長 伊藤林大郎

昨年は、対校戦において頼れる2番手3番手の存在がいなかったことがひとつ反省として上がりました。頼れる4年生が抜け新体制で臨む今シーズンですが、ブロック内で互いに高めあい磨きあい、対校戦でがっちり戦える強い短距離ブロックにしていきたいと思います。また、昨年は自己ベストを更新できた人も少なく、チームの起爆剤としては不甲斐ない結果に終わってしまいました。他人に勝つことにも勿論こだわりつつ、自己ベスト更新にも果敢に挑戦し、一人でも多くの方が更新することでチームを盛り上げるきっかけになっていきたいと思います。最高のパフォーマンスで今シーズンを戦い抜くためにも、日ごろ行うトレーニングの一つ一つに目的意識を持ち、本当に実力をつける練習をしていきます。短距離ブロック長として、競技面でもさまざまな面でまだまだ力不足で未熟ではありますが、陸上に対する取り組み方など少しでも行動で示せる人間でありたいと思います。ブロック長を務める強い覚悟と自覚を持って今シーズン精進していきます。

中長距離ブロック長の抱負

中長距離ブロック長 奥山康太

今シーズンの中長距離ブロックは男女共に対校戦の得点源となっていた4年生が欠けたことにより、より厳しい戦いが強いられることと思います。しかしながら、4名の上級生と昨シーズン新たに迎えた11名のフレッシュな新2年次全員がブロック間で互いに刺激し合えるような関係を築くことができれば必ずやチャンスが訪れるものと信じています。

今シーズンの一味違う中長ブロックをどうぞ楽しみにしててください。

跳躍ブロック長の抱負

跳躍ブロック長 山内裕香

跳躍ブロックの今年の目標は、全員で関東インカレに出場すること、23大学対校陸上競技大会で昨年の跳躍ブロックが取った点数以上を取ることです。そのためには、メイン種目では必ず勝ち、他種目でも戦えるようになることが必要となります。跳躍ブロックの得点源ともいえる先輩方が卒業し、昨年以上にブロックでの競技力向上が求められます。先輩方が抜け、強かったブロックという過去形にたくありません。全員がこの気持ちを持って日々練習に取り組んでいけるよう、サポートします。また、先輩方が抜けた分を補って、余りあるようにしていきたいです。今までの先輩方が築いてくださった跳躍ブロックの良いところを失わず、元気よく、お互いを指摘し合い、切磋琢磨していきたいです。ブロック員全員が自己ベストを出せるように、ブロック長として全力を尽くします。

投擲ブロック長の抱負

投擲ブロック長 荒井啓輔

今シーズンの投擲ブロックの目標は「関東インカレ出場」と「各対校戦での専門種目上位入賞、サブ種目入賞」です。

1 つ目については今、関東インカレの標準を切っているのは近藤のみです。全員が関東インカレに出場し、勝負することを目標として早めの仕上がりを目指して練習していきます。

2 つ目については昨年少し出来かけたサブ種目の入賞を、今年も目標の一つとして掲げ、人数は少ないですが一人一人がしっかり点数をとってこられるようにします。そのためには特に投げの時間や技術練の時間を余すことなく使い、とにかく投擲物に触れる時間を長くすることで、どの種目にも対応できるようにしていきます。

ここ数年主力だった先輩方が次々と引退してしまい、力も存在感も落ちてしまっている投擲ブロックですが、今いるメンバー、そして4月に入ってくるであろうまだ見ぬ新入生と共に、存在感、得点力ともに高いレベルを目指して活動していきます。

マネージャーブロック長の抱負

マネージャーブロック長 渋谷弥生

マネージャーブロックは、自分ができる選手の方へのサポートをそれぞれ探してやっていきたいと思います。また、私たち自身の人間的成長のためにも、進んで行動し、陸上部全体を見通したサポートができれば良いと考えています。マネージャーという視点から選手を支えていけるように努力していきます。手が回らず、サポートが不十分なきもあるかもしれませんが、自分ができる精一杯のことをやっていくつもりですので、これからもマネージャーブロックをよろしく願います。

日立ブロック長の抱負

日立ブロック長 近藤顕二

大先輩、松村さんが卒業し新たな2年次、木村、堀尾、平塚を迎え、日立ブロックは総勢11人となります。また短距離、中長距離、跳躍、投擲どのブロックのメンバーもいて、今までにない賑やかな日立ブロックになりそうです。

私はブロック長として「自由で強い」日立ブロックを目指したいと考えています。水戸のように毎日みんなで集まって練習することができないからこそ、自分自身にいま最も必要な練習を考え、限られた環境で工夫して練習するという自由と、練習は共にこなすことはできないけど同じチームの仲間を感じながら、1人でも精進を重ねられる強さを持てるようなブロックになっていけたらと考えています。そのために私はブロック長としてブロックメンバーのやる気を促進できるようにできる限りのことをしていくとともに、対校戦等では先頭で引っ張っていけるようなブロック長で在りたいです。

先輩、後輩、同期みんなが良い人で恵まれているブロックです。楽しく充実したシーズンになるよう、みんなで協力していきましょう。

IV. 2014 年度活動予定

2014 年度活動予定

日程	大会名	場所
5/16～17, 24～25	第 93 回関東学生陸上競技対校選手権大会（関東インカレ）	熊谷スポーツ文化公園陸上競技場(埼玉) 日産スタジアム(神奈川)
6/6～8	第 98 回日本陸上競技選手権大会	とうほう・みんなのスタジアム(福島)
6/20～22	2014 日本学生陸上競技個人選手権大会	Shonan BMW スタジアム平塚(神奈川)
7/4～6	第 68 回茨城県陸上競技選手権大会	笠松運動公園陸上競技場(茨城)
8/10	第 49 回千葉大学茨城大学対校陸上競技定期戦	未定
8/	第 63 回関東甲信越大学体育大会	未定
8/29～31	第 87 回関東陸上競技選手権大会	相模原ギオンスタジアム(神奈川)
9/5～7	第 83 回日本学生陸上競技対校選手権大会（日本インカレ）	熊谷スポーツ文化公園陸上競技場(埼玉)
9/	第 25 回関東学生新人陸上競技選手権大会	未定
10/18	第 91 回東京箱根間往復大学駅伝競走予選会	昭和記念公園(東京)
10/18～22	第 69 回国民体育大会	長崎県立総合運動公園陸上競技場(長崎)
10/24～26	第 29 回国公立 24 大学対校陸上競技大会	栃木開催予定
10/	第 65 回北関東五大学対校陸上競技大会	群馬開催予定
12/	第 69 回三浜駅伝競走大会	ひたちなか(那珂湊)
12/	第 15 回荒川河川敷大学対校駅伝競走大会	荒川河川敷(東京)
12/	宇都宮・千葉・群馬・高崎経済大学合同合宿	未定
1/	第 12 回国公立 24 大学対校駅伝大会	未定
1/25	第 63 回勝田全国マラソン	ひたちなか
3/	春合宿	未定
3/	関東学生春季オープン陸上競技会	未定
3/	第 24 回楮川駅伝競走大会	楮川ダム(水戸)

V. 卒業・修了生より

遠藤園子「大学院での陸上競技生活」

早いもので、大学生としての陸上競技が終わり、さらに2年間の院生としての陸上競技生活も終わりを迎えてしまいました。今思うことは、単純に“楽しかった”ということと、“寂しい”ということです。恋人をなくしてしまった様な感覚とでも言うのでしょうか？（笑）でも、私にとって陸上競技はそれくらい大きな存在だと思います。

この2年間は私にとって大きな挑戦ができた年であり、大きく飛躍できた年でもありました。4年生の時に記録の停滞を味わい、もう記録をのばすことはできないのではないか、と考えたこともありましたが、周りの方々に支えられて一から身体を作りなおして、自分の殻を破るための取り組みができたと思います。その甲斐あってか、院1年生の時には、インカレで優勝し、そしてさらに2年生でも自己ベストを更新することができました。しかし、まだまだ大した選手ではありませんし、自分自身の内面に磨きをかけるためにはもっと努力しなければならないと思います。なので、また次の目標に向かって陸上競技を続けたいと思います。

6年間も所属させていただいたこの部は私にとって、“家”のようなもので、家族のように暖かい仲間にもまれて陸上ができて幸せでした。今後はOGとして、後輩のみなさんの活躍を祈りつつ、私も負けずに頑張っていきたいと思います。

最後になりましたが、ご指導くださいました上地先生、渡邊先生、小川コーチ、先輩、ともに切磋琢磨した同期、後輩の皆様方、そして家族、私を支えてくださった方々に感謝いたします。本当にありがとうございました。

教育学研究科/保健体育/跳躍

三段跳・12m80 / 走幅跳・5m50 / やり投・39m81



松村俊「大学院生としての2年間」

一昨年の4月に新たなスタートを切ってからあっという間に時が経ち、気が付けばもう修了が間近に迫っています。それだけ自分の過ごした2年間に充実していたということだと思います。

この2年間競技面では何1つ成長出来ず、結局自己ベストを出せないまま大学での競技生活を終えることになりました。周りのみんなが自己ベストを出し、対校選手として試合に出場している中で、自分だけが置いて行かれていると思い、悔しさを感じました。それでも自分は大学院で陸上競技を続けて良かったと思います。この2年間、いろいろとアドバイスを下さった先生方や忙しい中来て下さったOB・OGの方、一緒に練習してきた仲間達のおかげで本当に充実した時間を過ごすことが出来ました。

今年の4月からようやく自分も社会人となります。この茨城大学陸上競技部に所属していた6年間、多くのOB・OGの方に大変お世話になりました。今度は自分がOBとして、後輩達のために出来ることをしていきたいです。

最後になりましたが、今までご指導して下さいました上地先生、渡邊先生をはじめ、茨城大学陸上競技部に関わった全ての方に感謝を申し上げます。本当にありがとうございました。

理工学研究科/電気電子工学/短距離

100m・11秒51 / 200m・23秒46



石津美阿里「引退して感じること」

引退してから、あっという間に3ヶ月が経ちました。陸上部で過ごした4年間を振り返ってみると、たくさんの思い出と出会いがありました。人として少し成長し、強くなった気がします。その分、自分の弱さも知ることができました。マネージャーとして陸上部に所属し、タイムを測ったり、マッサージをしたり、色々なところでサポートする立場を経験しました。その他にも、運営面等から学んだこともたくさんありました。部活動に所属していたからこそ、たくさんの方々と関わることもできました。私が不安になったときや困ったときには、先生、先輩、同期や後輩の温かい言葉や存在があって、助けてくれる人が周りにいることも知ることができました。



マネージャーとして選手を近くでサポートすることができたこと、陸上の素晴らしさを知れたこと、かけがえのない仲間に出会えたこと、たくさんたくさん良いことがあって、私は本当に幸せです。充実した大学生活4年間を過ごすことができたのも、部活動の存在が大きいのは確かです。

今後は大学院に進学し、もっと自分自身を成長させていきたいと思います。これからも、陸上部を応援し続けていきたいと思えます。最後になりましたが、上地先生、渡邊先生、陸上部のみなさん、本当にありがとうございました。

教育学部/養護教諭/マネージャー

伊藤太一「4年間を振り返って」

この4年間で、たくさんの人に出会いたくさんの人に支えられてきました。そして、本当に多くのことを考え、多くのことを学びました。陸上競技部に入学してすぐ、渡邊先生に「10秒台の奴のドリルじゃないな」と言われたことは忘れられません。しかし、それが自分の競技生活の始まりだったように感じます。「器用でない自分がどうしたら速くなれるのか。」答えは簡単でした。基礎の徹底・反復をするようになってから記録が面白いように伸びていきました。そして、2年生の大フィーバーは自分でも予想外の連続でした。どうしてここまでの選手になれたのかは未だにわかりませんが、確かなことは基礎を徹底したことが競技力の向上につながったのだと思います。



しかし、決して楽しい4年間ではなかったと思います。怪我に苦しんだ時期、陸上競技が嫌いになった時期、運営がつかった時期などつらい経験もありましたが、先輩や後輩、そして同期のみんなの支えてもらい競技を続けることができました。

上地先生、渡邊先生のご指導をはじめ、OB・OGの皆様、先輩、後輩、同期に出会えてとこと。そして、こんなに素晴らしい方々に囲まれて陸上競技が出来て良かったです。本当にありがとうございました。

自分は、後2年間は陸上競技を続ける事ができるので、この4年間では達成できなかったリレーで日本インカレに出場!!!そして、個人では日本インカレ決勝の舞台でまた走れるように、何よりも新たな出会いに期待して、陸上競技を楽しみたいと思えます。

教育学部/保健体育/短距離

100m・10秒56 / 200m・21秒14 / やり投・44m79

加藤俊介

先日、大学での陸上競技が終わり、それと同時に私の競技人生も終わりを迎えました。陸上部に入部しようか迷っているときに声をかけられたのが茨城県内有名選手の2人で、「こんなすごい選手ばかりいるんだらうか」と思い、ますます迷ったはずなのですが、気が付いたら入部していました。入部を迷っていたくらいなので、春休み中、あまり動いておらず、はじめの頃かなりきつい思いをしたことを覚えています。スタートはこんな感じでしたが、最後まで続けられたのはなんだかんだ言っても陸上が好きなんだと思います。



入部したての頃は感じたのは、4年生の先輩方がすごく大人に見えて、しっかりしていて、卒業するときに自分もこんな風になれるのだろうかということでした。実際4年生になってみたものの、そうなれたかは今でもわかりません。ただ自分の中では陸上部での経験を通して成長した部分と、それでもまだまだ未熟な部分があり、これからも多くのことを学んで成長していかなければと感じています。これからは社会人となるので、今まで以上に責任を持って行動できるようになりたいと思います。

最後になりましたが、上地先生、渡邊先生、OB・OGの先輩方、同期の皆さん、後輩達、本当にありがとうございました。これからは社会人として今よりも責任のある立場になるので頑張ります。あと最低でも週1で走れるように頑張ろうかなと思っています。これからはOBとして後輩の皆さんの活躍を楽しみにしています。

教育学部/スポーツ/中長距離

800m・1分59秒81 / 1500m・4分01秒14 / 5000m・15分35秒54

川部優太「陸上部での4年間を振り返って」

時が経つのは早いもので、茶髪で自己紹介をした大学1年生の頃が昨日のことに感じます。今思えば若かったなあ、と感じている次第であります。

思い出話は直接聞いていただくとして、なにかここに残せれば、という気持ちで書きます。自分の中で一つ、大学陸上を4年間やってきて、足らなかったなあ、思うことは夢中になることだと思います。いろいろ考えすぎましたね。もっとシンプルに、一番前を走る、ということに夢中になるべきでした。練習でも、試合でも。いつの間にか他人との競争ではなく、自分との闘いになっていたことが自分の弱さであったと実感しています。陸上競技は、相手がいる、相手よりも前でゴールする、そんなところが私は好きだったんじゃないのかなあと思います。



私は、幸いにも後2年間陸上を続けることができます。もっと陸上に夢中になって、みんなより前を走って、好きな陸上を思い出したいと思います。

後輩の皆さん、陸上は理屈じゃないと思います。もっとシンプルにかけっこしてほしいです。負けず嫌いになって、練習での勝ち負けにこだわってください。

最後になりますが、上地先生、渡邊先生をはじめ、OB・OGの皆様、深く感謝申し上げますとともに、今後ともどうぞよろしくお願ひ致します。そして、同期のみんなの活躍を期待しています。

工学部/都市シス/短距離

400m・50秒50 / 400mH・54秒24

木村世奈「4年間を振り返って」

陸上部での4年間は、対校戦や合宿など様々な行事を経験できて振り返るととても充実した期間でした。大学のグラウンドで汗を流している先輩方や、高校時代から憧れていた選手の影響があり、入部を決意しました。入部当初は、分からないこともたくさんありましたが、目標を掲げて、それに向けて自分に足りないものを考え、仲間と共に練習することが次第に楽しいと思うようになりました。時には、くじけてしまいそうになった練習もありましたが、先生方や部員の皆さんの存在に励まされ、走り続けることができたので、感謝の気持ちでいっぱいです。



これからは、部活動でのたくさんの思い出を胸に何事にも一生懸命、悔いのなうように取り組んでいきます。

今まで、上地先生、渡邊先生をはじめ、陸上競技を通じてたくさんの方々に出会い、お世話になりました。ありがとうございます。今後も茨城大学陸上競技部の活躍を楽しみにしています。

教育/心理/中長距離

5000m・17分42秒89 / 10000m・37分02秒57

黒澤夏楠「4年間を振り返って」

「毎日よくそんなに走れるねー。辛くないの?」と私はよく訊かれます。もちろん辛いときはあります。しかし、それが嫌だと思ったことはありません。これには二つの理由があります。一つ目は「辛いとき、逃げ出したいときこそ伸びるチャンス。」そう思ってやってきたことです。強くなるためにしている練習は辛いときこそがその伸びるときなのです。ここでやめてしまったらいつまでも変わることはできません。だから私は、そういうときこそ「ラッキー、また一つ強くなれる」そう思うようにしてきました。今の自分の頑張りが未来の自分を作り出す。そう思うととてもワクワクした気持ちになります。考え方ひとつで辛いことも楽しいことに変わるので



二つ目は、「ちょっとだけ頑張る」ことを毎日続けてきたことです。例えば、朝練の時間を10分だけ増やそう。気ままに10分多く走っただけでも1週間で合計70分。一步得した気分になりました。毎日の小さな繰り返しも、続けているうちに習慣として身につくにつれて、当たり前前の行為になり、やらないと逆に物足りなく感じてしまうようになりました。私は、こういったちょっとずつの積み重ねにより、気づけば4年間で朝練時間が40分も増え、それが毎日の習慣となりました。

この2つのことは、私が4年間少しずつ成長することができたきっかけのひとつだと思います。それは、陸上に限らず、どんなことにも当てはまるのではないのでしょうか。すぐに結果がでるものではないけれど、考え方を変えてみたり、小さな積み重ねは決して無駄ではなくいつか必ず差になって出てくると思います。これから、新たな環境でのスタートとなりますが、今の素直に陸上が好きで強くなりたいという気持ちを捨てずに前に進んでいけたらと思います。

最後になりましたが、4年間ご指導下さった先生方、何より私を支えてくれた仲間達のおかげで、こんなにも陸上を好きになれて、楽しいと思うことができました。本当に感謝の気持ちでいっぱいです。ありがとうございました。これからも、皆様のご活躍を心より願っています。

教育学部/健康/中長距離

1500m・4分41秒41 / 5000m・16分35秒50 / 10000m・33分35秒75

齋藤圭介

1年生の冬にこの陸上競技部に入部してから今日まであっという間に過ぎた大学生活でした。私にとってそう感じるほど、充実した時間となりました。茨城大学に入学したときは、まさかこんな大学生活を送るとは思ってもいませんでした。

陸上を始めてからは、慣れない練習や環境に戸惑い、苦しむこともありましたが、それよりも、試合で自己ベストを更新した時、練習で仲間達と高めあったこと、陸上を通じて様々な人と知り合えたことなど楽しかったことのほうが多く思い出されます。

この4年間を通して、少しずつ長距離選手らしい体型になり、少しずつ長距離選手らしい走りになり、さあこれから！というところで記録が伸ばせず、引退してしまったのが心残りです。

今後は、趣味の一環として時間をみつめて、走りたいと思います。

これまで、ご指導をしてくださった上地先生、渡邊先生、ありがとうございました。同期のみなさんはじめ、陸上競技部のみなさん、お世話になりました。

来年からは社会人になりますが、機会があるときは、部活に顔を出すかもしれないので、その時はよろしく！みなさんのこと応援しております。

人文学部/社会/中長距離

1500m・4分19秒54 / 5000m・16分21秒45



柴俊博

4年間を振り返ってみると、本当にあっという間だったなと思います。楽しいことも思うようにいかなかったこともたくさんありましたが、振り返ってみると、思うようにいかなかったことが自分自身を振り返るきっかけになって、自分の成長につながったのかなと思います。また、人間関係について今まで考えたことがないくらい考えたりと、人と人のつながりを改めて見つめなおすことができた4年間でした。この4年間を通してたくさんの人と触れ合い、自分の世界を広げることができたようにも思います。

来年度からは大学院に進学しますが、競技は続けていきたいと考えています。正直、大学院での生活は想像出来ない部分が多く、今以上に忙しい毎日になると思いますが、あと2年という時間を無駄にしないよう多くのことに挑戦し、自分の世界を広げていきたいなと思います。

最後となりましたが、上地先生、渡邊先生、先輩方、同期のみんな、後輩のみなさん、本当にお世話になり、ありがとうございました。これからもよろしくお願ひします。

教育学部/理科/短距離

400m・50秒57 / 400mH・57秒91 / 200m・23秒09



城石俊朗

引退して3ヵ月くらいたちましたが、陸上部だった時間はあっという間に過ぎました。この4年間で、あまたの問題を起こしましたが、その都度問題解決に動いてくれたりしていただいた同期には感謝しています。ありがとうございました。

自分は一部の同期のように院のほうに進学しますが、陸上部はこのまま引退します。自分はこの4年間何か変わったかと聞かれたら間違いなく変わってないといえますがこれを機に成長しようと思います。

最後に卒業していく同期のみんなの健闘、活躍を期待しています。

理学部/物理/中長距離

800m・2分05秒50



肥田埜里枝「感謝」

もう夢の中で走ったり、家でセパをきて動画を見たり、タイミングを意識して歩いたり、カロリーを気にしたり、車線変更をレーン変更と言い間違えたりすることはなくなると思うとなんだか寂しい。それだけ自分の生活の中で陸上の存在が大きかったんだと思う。

やっぱり走りたいと6月に入部を決めた1年。負けることに慣れてしまった2年。熊本インカレでの皆の活躍が私のやる気スイッチをONにしてくれた気がする。主務として運営に関わった3年。競技面も充実した。特に、全カレ締め切り直前の筑波大競技会。朝9:30たった1チームでのマイルレース。追いかけて続けた切符をついに掴み取り、ゴールした瞬間に「やったー！」と叫んだことは今でも鮮明に覚えている。チームの力を感じた瞬間でもあった。そして、最終学年。春先に大きな怪我をし、休部騒動まで起こってしまった。どん底からのスタートだったが仲間の支えもあり、個人種目で初めて全国を走ることができた。個人では北関にも関カレにも出場したことのない私には夢のような舞台だった。

無我夢中で駆け抜けた4年間。嬉しさも悔しさも楽しさも苦しさも全部が最高の時間だったと今は思える。競技に挫折やスランプ、失敗はつきものだし、難しい選択や決断を迫られることもある。困難に立ち向かうには勇気がいるし不安で押しつぶされそうになることもある。でも、それらに意味を持たせることは後からできる。後悔を減らすこともできると思う。正しい道を選ぶのではなく、正しい道にすれば良い。引退は必ず来る。最後にこれで良かったと思えるように、一日一日を大切に組み込んでいって欲しいと思う。

茨大陸上部での4年間の陸上競技生活は私を大きく成長させてくれた。そして、そこにはいつも支えてくれる仲間や先生、家族がいた。怪我の多かった私は、本当にたくさんの方にお世話になった。いつも全力で支えてくれる皆さんがいたから、こんなにも最高の4年間を過ごすことができた。どんな言葉を選んでも足りないというくらい今も感謝の気持ちでいっぱいである。心を込めて…本当に本当にありがとうございました！！

教育学部/数学/短距離

400m・56秒04 / 200m・25秒07



宮岡仁美「4年間で振り返って」

茨城大陸上部での4年間は、とても濃厚で重みのある時間でした。こんなにも重みのある時間を過ごせたのは、他ならぬ皆さんのおかげです。皆さんを支えられるように…と思って活動していましたが、私のほうがいつも皆さんの存在に支えられていたのだなと感じています。

4年間様々な経験をさせていただきました。楽しいこと、嬉しいこともたくさん、辛いこともたくさんあったように思います。いろんなことを経験する中で、周りの人の行動や考え方があって始めて気づいたり、実感を伴って学んだりすることがたくさんありました。色んな人がいる中で自分の在り方も考えることができました。そんな人と人との関わりができる環境で、たくさん迷って悩んで、少しずつ成長を重ねているのだと思います。皆さんと出会い、皆さんがいる中で活動することができたことは私の財産です。

最後になりましたが、上地先生、渡邊先生、先輩方、部員の皆さん、本当にありがとうございました。卒業してもいつでも皆様のご健康とご多幸をお祈りしております。これからは先輩方のように、社会人って素敵！と後輩の皆さんに希望を持ってもらえるようなOGであるように頑張りたいと思います。

教育学部/養護教諭/マネージャー



星野千恵

勝田マラソンを目前に控えながらも、終わりの見えない卒業論文に奮闘する今。果たして両方とも無事に終わることができるのだろうかと不安でいっぱいですが、部活も学校も本当に卒業してしまうのだなあとしみじみ思います。

4年間の大学生活を振り返ると本当にあっという間でした。ということはなく、しっかりきっちり4年間だったと感じます。「大人の1年が早く感じるのは、新しい出来事がなく、刺激が足りないからだ」と安田が言っていました。ということは、安田説によるとわたしは刺激に満ちあふれた日々を過ごしてきたようです。

この4年間は1日として同じような日々はありませんでした。個性揃いの偉大な先輩方からは、練習や運営に限らず、私生活を含め本当にたくさんのことを学び、経験させていただきました。破天荒な同期に恵まれてブロック長を務めた1年間は、充実という枠を飛び越えており、私の中で「大変」の一基準となっています。しかしながら、その出来事一つひとつによって、今のわたしの軸がつくられていったのだと感じています。

思い返してみると、もちろん、良いことばかりではありませんでした。しかし、いろいろな感情があったからこそ、盛り上がる思い出話ができるのだと思います。おそらく今も、茨城大陸上部に平穏な日々はなく、常にどこかで上手くいかないことや課題が潜んでいることでしょう。しかし、たとえ最善の結果にたどりつかなかったとしても、考えることや経験することに価値があるのだと思います。大いに悩み、考え、成長してってください。今後もOGとして応援しています。

最後になりましたが、上地先生、渡邊先生、先輩方、同期、後輩たち、たくさんの刺激をありがとうございました。

教育/保健体育/投擲

ハンマー投・45m00 / 円盤投・38m66 / 砲丸投・9m32 / やり投・30m95



山口真未

気がつくと、あっという間に4年が経っていました。本当に時が経つのは早くて、ついこの前茨城大学に入学した気がします。当時は、陸上競技部の一員になれることが新鮮であり、また沢山の知り合いやライバル達とチームメイトになれることが不思議でしょうがなかったことを覚えています。今、陸上競技部での4年間を思い返すと、教えきれないほどの素敵な思い出と、自分を成長させてくれた出来事や経験で埋め尽くされます。特に2年次、跳躍ブロック長として陸上競技を深く考える時間を与えていただきました。ブロック員を初め、先生方にはご指導ご鞭撻を沢山いただき、少しながら物事を客観的に考える力もついたのでないかと思います。以前は感情のみで動いてしまう単細胞生物でした。今も結局変わらないかもしれませんが…。(笑)



また、この場で書くのは少し違うかもしれませんが、尊敬する先輩の言葉に「この年になったら、普通叱られることは無い。だから真剣に叱ってくれる人が周りにいることに感謝」という言葉があります。私はこの言葉に感銘を受けていて、これを聞いた日から色々と視点が変わった気がします。叱ることは、叱られることよりもエネルギー使うと思いますし、自分がちゃんとしていないと説得力もない、そして受け入れられないと思います。こんなにもネガティブ要素が多い中で、私の周りには真剣に叱ってくれる人が沢山います。この4年間で、私の未熟な部分を指摘してくれて、成長させてくれた人達に感謝しています。

そして、今まで苦楽を共にしてきたチームメイト。思い返せば楽より苦が多い気もしなくはありませんが(笑)共に汗と涙と血を流した日々は決して忘れません。試合で勝つ喜び、負ける悲しみ、強化週の気合い、減量増量のキツさ、サーキットの辛さ、鉄棒の冷たさ、ウエイト室の寒さ、怪我の痛さ、合宿の楽しさ、みんなで食べるご飯の美味しさ、そして陸上競技の楽しさは、普通の大学生では感じる事の出来ない宝物であると私は思います。それをみんなと感ずることが出来て、本当によかったです。私は幸いにもあと2年陸上競技を続けることができます。場所や所属は変われど、私の根底にあるのは茨城大学陸上競技部です。この四年間で培った多くのことを胸に、もう少し頑張ってみます。陸上競技も人間的成長も。

上手くまとまりませんが、今まで本当にお世話になりました！ありがとうございました！！

教育学部/健康/跳躍

七種・4934点 / 走高跳・1m63 / 走幅跳・5m90(+3.0), 5m81 / 100mH・14秒79

山屋瑛美「陸上競技と私」

大学生活を振り返るとあっという間だったな、と感じています。4年間の大学生活でも陸上競技に関わることができ幸せでした。陸上競技は、自分で選んで自分で続けてきたものです。しかし、一人ではなく多くの人との関わり、支えがあって、成り立つものであると思います。陸上競技を続ける中で、一緒に練習をしたり、共に対校戦を戦った仲間や先生方、応援してくれる両親や友達などの存在のありがたさに気づきました。



走ることが好きで始めた陸上競技ですが、続けることがつらくなったことが何度もありました。その度に、悩んだり、話し合ったりすることで、陸上競技に対する自分の考えが深まったように思います。陸上競技を通して学んだこと、得た仲間は私の財産です。

この原稿を書くにあたって、過去の部誌を読み返していたのですが、自分も同じ卒業生という立場に立って読むと、先輩方からのメッセージが以前に増して心に響きました。時が経ったからわかるもの、時が経ってもわからないものがあるかと思いますが、この4年間の成長を実感した瞬間でした。

最後になりましたが、上地先生、渡邊先生、OB・OGの先輩方、部員の皆さん、陸上を通じて出会った方々、ありがとうございました。

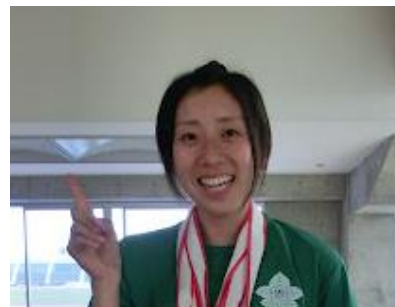
教育学部/社会/短距離

100m・13秒08 / 200m・27秒12 / 400m・63秒46

VI. OB/OG 近況報告・現役部員へのメッセージ

鈴木麻理

2012 年度に大学院を修了した鈴木麻理です。現在は県内の県立高校で保健体育教諭をしています。幸運なことに、陸上競技部の顧問もしています。毎日元気に楽しく生活し、生徒と一緒に走っています。そして、人生初の一人暮らしも何とかなっています。美味しいごはんが作れないおかげで、体重はキープできています(質は大きく変わったと思いますが・・・)。冬合宿では初日のみでしたが、生徒が練習に参加させていただきました。その節は大変お世話になりました。帰りのバスの中で、生徒一人一人に感想を述べてもらったところ、「午前中あんなに練習したのに、大学生は午後もすごく元気に動けていてスゴイ!!」、「もっと体力をつけないと・・・」「動きのポイントとか、大学生みたいにもっと意識を持たないと・・・」などなど、色々考えるとところがあったようです。ありがとうございました。



そんな私は、勝手に作成した『茨苑 AC』のユニフォームを着て、2013 年シーズンも大会や記録会に出場しました。中学生の頃に若返った記録しか出ませんでした。新しい練習方法や、今できる練習方法は何かと模索しながら動いているのは楽しいです。また、今年も陸上競技を通して多くの方と知り合い話をさせていただく中で、たくさんの発見がありました。やっぱり、陸上競技は良いですね。

3月に大学院を修了する1つ下の後輩、大学を卒業する後輩達は私が4年生の時に入学してきたメンバーですね。教育実習での教え子世代が大学1年生・・・。時間を共にした仲間はどんどん大学から減っていくのかと思うと寂しいものですが、これからもどんどん顔を出して新たに加入するメンバーともどんどん絡んでいきたいです。

今後も、茨城大学陸上競技部の皆様には、何かとお世話になることと思います。これからもよろしく願いいたします。

★2014年シーズンが、茨城大学陸上競技部にとって飛躍のシーズンとなりますように★

教育学研究科/保健体育/短距離

100m・12秒10 / 200m・24秒52 / 400m・56秒88

滑川智登

茨城大学陸上競技部のみなさんこんにちは！2013年度卒業の滑川です。って、今さら自己紹介するのも変な感じですね(笑)。いつも練習に参加させていただいて本当に感謝しています。

卒業してから思うのは、これほどにも自分のために使える四年間はもうやって来ないのだろうなという事です。陸上・各学科の勉強・人間関係などやろうと思った時にすぐに実行できるのは大学生の特権だと感じます。ぜひ、この四年間は食欲に様々な事にチャレンジしてみてください。



部員全員が満足な学生生活を送れる事を願うとともに、これからもグラウンドでみなさんの成長を見る事ができるのをを楽しみにしています。

教育学研究科/保健体育/短距離

100m・11秒22 / 200m・21秒90 / 400m・48秒59

浅川 瞭

新規採用職員なのにとってもレベルの高いスピーチをするねと、本庁の部長級の人に言われ完全に天狗になっている浅川です。社会人生活も慣れたもので、周りの上司からは最初の頃のフレッシュさはどこに行ったの？と言われてしまうくらいです。

私は今年の4月から茨城県庁に入庁し、今は出先機関で自転車競技の競輪という公営ギャンブルの資金管理業務をしています。仕事柄、お金の動きが激しいので、3億円くらいの現金なら普通に目にします。

皆さんは競輪というスポーツをご存知でしょうか。競輪は、1レース9人の選手が「レーサー」という競技用自転車に乗って着順を競うスポーツです。バンク（陸上でいうトラック）の長さは333m・400m・500mの3種類あり、大体2000mでの競争になります。その中でも400mバンクが主なのですが、最後の1週のラップは大体25秒位です。400m25秒ってかなり速いですよね！

最近では選手の方とも仲良くなってきたので、実際にレースで使用するレーサーに乗せてもらいました。「プロで25秒なら、俺なら30秒くらいで行けるんじゃないか？あわよくば競輪界からスカウトあるんじゃないか？」こんなことを考えながら発射台にレーサーをセットし、いざスタート！！・・・動きませんでした。

プロの使用するギアは重すぎて素人には踏み込むことすら出来ませんでした。これで、競輪界に転職して一攫千金の道は絶たれたので、これからは公務員としてコツコツと真面目に働くことにします。

次の異動先には是非、国体推進課に行かせて下さいと強く打診しているので、2019年の茨城国体では、皆さんの誰かが活躍している姿を見られればと思っています。

最後になりましたが、皆さんが4年間の大学での競技生活で満足の行く結果を残せることを祈っています。掲示板を見ながら陰ながら応援しています。

人文学部/社会/中長距離

800m・2分04秒13 / 1500m・4分17秒34



富井一仁「責任とれるだど！？ふざけるな！！」

私は中学校の教師をやっています。1年3組を受け持ち、社会科を5クラスもち、分掌では生活担当です。また幸運にも陸上部の副顧問をしています。冒頭の一言は、冬休み二日目の昼休みに教頭先生に言われました。生徒が廊下を走っていて危ない状況なのに、私は他の生徒と談笑し、生活担当として生徒を注意できませんでした。そして生徒が大きな怪我をした時に責任を取れると甘く考えていました。大きな怪我をさせてしまったら教師一人きりでは責任をとりきれないと当時、教頭先生に教えていただきました。「社会人は仕事に責任を持つこと」当たり前のことですが、身を持って実感できました。

職場では、生徒に適切な指導ができないことや同僚に気が利いた行動がとれないことに対し毎日悔しさを感じています。毎晩教材研究で寝不足です。それでも「もう授業終わり？」「先生が担任がいい」「富井先生おもしろい」と言ってもらえるととても嬉しいです。最初は不安しかなかった担任業務と、教科指導もあと少しで区切りを迎えます。今は修了式で子どもたちが「1年3組でよかった」と感じられるように動こうと思っています。

近況報告を書かせていただき茨城大陸上部と繋がっていることへの嬉しさを感じています。向かい風の下界を走ったこと、原付で競技場まで行ったこと、飲み会がめちゃくちゃ楽しかったこと、先輩・後輩・先生方そして同期に良くしてもらったこと。全てが良い思い出です。唯一の心残りは予選会に出られなかったことかな。現役の皆さん。卒業するとみんなとは毎日会えなくなります。“今”を楽しんでくださいね。

教育学部/社会/中長距離

1500m・4分11秒31 / 3000m・9分05秒61 / 5000m・15分39秒04 / 10000m・32分39秒86



小島恵梨香

みなさん、こんにちは！卒業から、1年…社会人になり、1年が経過しようとしています。時が経つのは早いですね。私は現在、県内の金融機関で働いています。覚えることがたくさんあり、上司や先輩方に教えていただきながら毎日、知識を増やしています。上手くいかず、悩むこともあります。1人でできる仕事が増えるとやりがいも感じ、充実した毎日です。

さて、目標にむかって努力しているみなさんへ、競技をするうえで、練習はとても大事なものです。真剣に練習に取り組むことは大切ですが、辛い練習の時こそ、仲間と声を出し合



い楽しく乗り越えてほしいです。これから先、怪我や記録の伸び悩みなど、上手くいかず辛いことがあるかもしれません。でも、辛いことは自分を変えてくれる、成長させてくれるチャンスだと考えて努力し続けてほしいです。それを乗り越えた時には、必ず自分自身に得られるものがあるはず。学生生活の4年間は本当にあっという間です。1日1日を大切に過ごしてください。

土日祝日が休みの職場ということもあり、昨年は何度か皆さんの試合にお邪魔させていただきました。今年も、お菓子の差し入れを持って、皆さんの応援にいきますのでよろしくお祈りします。活躍を期待しています。

教育学部/健康/短距離

400m・59秒80 / 400mH・65秒79 / 200m・26秒97

鈴木香織

お久しぶりです。昨年度卒業した鈴木香織です。皆様、いかがお過ごしでしょうか。私は今、茨城県の中学校教諭として働いており、毎朝5時に起きて23時には寝るという、いたって健康的な生活を送っています。昼食は820キロカロリー（+α）と栄養士によって管理されているので、痩せ細ることもなく、1月には過去最高体重を更新しました。まだまだ成長期ようです。社会人として働き始めた時は、生徒と一緒にトレーニングをして、競技を続けようと考えていましたが、結局出場できた試合は、一度も練習せずに挑んだ東日本実業団選手権と千葉対校での円盤投2試合でした。働きながら時間を作るなんて考えが甘かったようです…。そんなこんなで、この1年は大会に顔を出す事がほとんどできなかったもので、来年度は出没率が上がるように頑張ります。その時にはどうぞよろしくお祈りします。



勤務校には陸上競技部はありませんが、幸せなことに、茨城県中体連強化部のコーチとして陸上に関わらせていただいています。これからもこのような陸上競技とのつながりを大切に、少しでもお世話になった陸上界へ恩返しをしていけたらと思います。

仕事で苦しいことやつらいことがあった際に思い出すのは、いつでも茨城大学陸上競技部で学んできたことです。部活動でいろんな失敗をしたからこそ、その経験がいまここで活かしているという実感が日常生活の至るところで生まれています。先生方や先輩方・仲間から教えていただいた、競技力向上についてはもちろん、部の運営を通してコミュニケーションスキルや社会のルールを学んだり、仲間の大切さをこんなにも尊く感じたりできる部活は他にはないと思っています。

部員の皆さんには、目の前にあるやるべきことから逃げ出さずにしっかりと向き合ってもらいたいと思います。いつかそれが自分のためになる時が必ずやってきます。茨城大学陸上競技部として思いっきり楽しんでください！みなさんのさらなるご活躍を期待しています！

教育学部/健康/投擲

ハンマー投・44m62 / 円盤投・42m16 / 砲丸投・10m60 / やり投・34m49

逆井智也

皆様お久しぶりです。最近では走る時間よりゴルフクラブを振っている時間の方が長くなった逆井です。社会人1年目はとても学ぶことが多く、自分の未熟さを知るとともに、充実したものになっています。

茨城大学陸上競技部での時間はとてもかけがえのないもので、多くの経験をすると共に大切な仲間ができました。しかし、学生時代に心残りがあります。一つは目標としていた茨大記録を更新できなかったこと。もう一つは部の運営に非協力的だったことです。私はブロック長で練習のことばかりに興味がいき、事務仕事や大会の運営などにやる気を見出せないでいました。そのせいで当時の主将、主務などには迷惑をかけてしまったと思います。部の運営を円滑に行っていくには、密なコミュニケーションとチームワークが重要な要素になってきます。もしあの時もっとみんなと協力していればと思うと後悔の念が浮かんできます。現役の皆には、私のように後悔しないようにすべてのことに全力で臨んでほしいです。

今後も皆の成長を見に大会を訪れようと思います。また、今年も千葉対校にはエントリーを考えていますので、跳躍ブロックの男子は私に負けられないように修行に励んでください(笑)

最後になりますが茨城大学陸上競技部の活躍を心から祈っています。茨大ファイアー！

教育学部/スポーツ/跳躍

走幅跳・7m02 / 三段跳・14m24 / 走高跳・1m60



辻はるか

早いのか遅いのか、卒業してから1年たってしまいました。色々変わったところもあるみたいですが、たまに顔出した時等皆さん元気そうで何よりです。

1年という時間は人間を大きく変えます。精神的にも、肉体的にも。精神的に言うと、①社会に出て、理想と現実のギャップを目の当たりにする②組織の人間としての自覚が強くなる③何事にも耐える力が身につくです。肉体的に言うと、①僧帽筋が落ちて首が伸びる②大胸筋が落ちて胸が減る③腹の肉が…以下略ですかね。現在、私は東京の治安を守り、国家と国民に奉仕する仕事をしています。(笑)

社会に出て少しだけ大人になって振り返ってみると、大学の時間、特に部活をやっていて得られた物は結構大きくて、結構貴重なんじゃないかなーと思います。悲鳴をあげながら取り組んだウエイトトレーニング、回転に慣れず酔ってゲロったターン練習、半泣きで走った勝田マラソン、胃袋の限界を突破した食練、自分の存在意義が分からなくなって落ち込んだ日々、時間に追われて仲間まで当たったあの頃。色々あって大変でしたが、これらの経験が今の私を形成してくれているように感じます。高い壁が目の前に立ちだかっているけど、それを乗り越えたとき、その壁は自分を護る大きな盾になってくれます。部活やっていると辛いこと、苦しいこともあると思いますが、騙されたと思って、馬鹿になって全力で取り組んでみて下さい。大学時代の経験が今の私の原動力であり困難に立ち向かう力です。大学時代の仲間が今の私の心の支えであり頑張りの源です。大学時代の素敵な思い出が辛い時にいつも私を励ましてくれます。部員の皆さんは、今、自身の貴重な財産となり得る時間を積み立てているのです。だから二度と戻って来ないその時間を大切にしてください。そして、何より仲間を大切にしてください。ここで築いた絆は一生ものです。私は本当に茨城大学陸上競技部に所属して良かったなーと思います。大学に帰った時、居場所がありますから。たまに顔出した時にも皆が温かく迎えてくれるこの部活って素敵です。これからも後輩達の活躍を期待しながら、若い皆さんに負けられないよう、私も首都東京の安心・安全を守るべく頑張っていきます。

教育学部/スポーツ/投擲

円盤投・25m70 / 砲丸投・7m50 / やり投・25m87



南部智彦

みなさん、こんにちは。お久しぶりです。

いつの間にかこのメッセージを書く立場になり、時間が経つのは早いものだと実感しています。そして今感じていることは、茨城大学陸上競技部へ改めての感謝です。

この部活での経験は、今の自分自身の考えや行動のベースとなっており大変貴重な経験をさせていただきました。本当にありがとうございました。

私は現在地元の市役所に勤めています。台風の際には市役所に泊まったり、火災が起きるとサイレンを鳴らして現場に向かったり、時には警察の方々と仕事をしたりと、正直予想外な職場でありましたが、なかなか充実した日々を送っています。

さて、まだ1年にも満たない社会経験ですが、その中から感じたことで皆さんにお伝えすることがあるとすれば、様々なことに挑戦してみてください、ということでしょうか。いろいろな遊びをしたり、旅行に行ってみたり、新しく趣味を探してみたり、学生の最大の利点である時間を有効に使って様々な経験をしてみるといいと思います。無関係に思えるような事柄でも、何か生きて来ることもあるので、ぜひ自分の幅を広げてみてください。益々の茨城大学陸上競技部のご活躍をお祈りしております。

人文学部/社会/短距離

100m・11秒91 / 200m・24秒78



ホアン テ ウェン

陸上競技部の皆さん、こんにちは。昨年度、教育学部人間環境教育課程スポーツコースを卒業したホアン・テ・ウェンです。皆さんの活躍はいつも楽しみに、HPから拝見させていただいています。小学生のときは一年がとても長く感じていましたが、成長するにつれて時間の流れが早く感じます。皆さんにとって今シーズンはどのようなシーズンだったでしょうか？

私は現在、筑波大学陸上競技コーチング論研究室の研究生として、陸上競技のあんなことや、こんなことについて考えながら過ごしています。研究室のメンバーは競技と研究を両立する人ばかりで、刺激を受ける毎日です。今でこそ、好きな陸上競技について好きなだけ妄想することができていますが、大学を卒業してからの半年間は、これまでの人生の中で最も過酷で孤独な時間でした。その中で、支えとなったのは茨城大学陸上競技部で4年間共に過ごした同期の存在です。他の同期が活躍しているのに、主将である私がよくよするわけにはいきません。主将という仕事を重荷と考える方もいると思いますが、私にとって茨城大学の主将であったという経験は、自信と勇気を与えてくれます。

こんな私ですが、来年度からは筑波大学人間総合科学研究科に進学することになりました。私達の研究室は陸上競技の実践と理論を融合させ、パフォーマンス向上に資する情報を社会に提供するために、日々研究を行っています。その中で大切にしていることは、常に「当たり前を疑う」ということです。当たり前と決め付けた段階で、私達は考えることを止めてしまいます。これは研究だけではなく、競技にも当てはめることができます。普段の何気ないドリルにも、目的意識を持って行うか行わないかには、独立した一つの技術練習と、ただのウォーミングアップほどの違いが生まれます。また、疑問を持ったらどんどん積極的に質問してみてください。そこでは、専門外だから分からないとか、自分には関係のない種目だから必要ないとかではなく、専門種目ではないからこそ気づける点や、何気ない疑問が生まれるのです。陸上競技の魅力は走、跳、投に大きく分けられる多種多様な種目があることだと思います。皆さんには、自分の専門種目だけではなく、ブロックを越えた交流を通して様々な種目を理解し、より一層陸上競技を楽しんでほしいと思います。

私も理論だけの頭でっかちになるのではなく、自分の体を使って実践するべく、1年間のブランクをえて、トレーニングを少しずつ再開しました。今年度は皆さんのチームメイトとしてではなく、ライバルとして共に競技できることを楽しみにしています。今シーズンの茨城大学陸上競技部のさらなる発展を期待しています！また、競技場でお会いしましょう。

教育学部/スポーツ/投擲

やり投・62m05 / 円盤投・40m84 / 砲丸投・12m27



林田麻由

みなさん、こんにちは。卒業後、跳躍から市民ランナーとなる、歴代の跳躍の先輩方の伝統（？笑）を引き継ぎ、ランニングが趣味になっている林田です。

私は現在、茨城県鹿嶋市の中学校で非常勤講師をしており、保健体育を教えています。主に中学校1.2年生の授業を担当し、2年生の保健体育の授業は自分一人で受け持っています。社会人1年目は「分からない」という日々の毎日で、初めは自分の無能さに自己嫌悪に陥る日々でした。そのため、社会人になりたての頃は、同期と頻繁に連絡を取り、お互い励まし合ったことでとても救われていました。そして卒業時にもらった色紙や手紙を見ては「がんばろう」と思うことができました。卒業して改めて仲間の大切さを感じ、茨大陸上部に入ってよかったな、と心から思います。また、学生時代に先生方に言われていた言葉の意味がわかることも多く、茨大陸上部は記録だけでなく、人間として成長させてくれた場所だったなと、今、思います。支えて下さっていたみなさまに改めて感謝しています。



この寄稿をするにあたって、改めて部誌を見返すと、歴代の先輩方が述べている言葉の数々が心に響きます。やはり「先輩は偉大」ですね。

私が部員のみなさんに伝えたいことは、「苦しい時こそ成長するチャンス！」ということです。悩み、苦しむ日々を乗り越えるから成長すると思います。（私はこの1年、これで乗り切ってきました(笑)。そしてこれからも思い続けて何があっても前に進もうと思います。)

私は今年度、幸運にも教員採用試験に合格することができたので来年度からは茨城県の中学校教諭として働く予定です。忙しくなるとは思いますが、これからもちょくちょく顔を出していきたいと思いますので、みなさん、今しかできない日々を楽しみ、頑張ってください。応援しています♪

教育学部/健康/跳躍

走高跳・1m70 / 三段跳・11m47

吉原友理

こんにちは。昨シーズンは度々出沒し、その度に自己紹介であたふたした平成24年度卒業の吉原です。いつも皆さまから元気をいただいています。

現在、私は筑波大学教育研究科の院生で、陸上競技部にも所属しています。練習は大概一人で(自ら進んで)あまり人のいない時間になっています。人がいるとうまく身体が動かなくなってしまうので…。4年次で一度引退してから再スタートし怪我もなくうまくつなげたおかげで昨シーズンは自己ベスト&インカレ入賞を果たすことができました。競技を続けるのは楽しむためと決めていたのが幸しいと思います。インカレでは大きな応援ありがとうございました。



卒業してもうすぐ1年。違う学校に進学して改めて思うことは、茨城大は個人同士の距離が近いということです。これは茨城大の良い所だと思います。なんだかんだ気にしてもらえるというのは、(状況にもよりますが)ありがたいことです。所詮他人ですから、いさかいだってあるかも知れません。しかし、自分にとってどうでもいい人には腹は立ちません。よって腹が立つということは自分にとって必要な人ということなんです。せっかく出逢ったメンバーですから是非大切にしてください。

院生生活で先生からよく言われることがあります。私が苦手なことだから耳に残りやすいのかも知れませんが…。それは、「問題意識を持つこと」・「疑うこと」です。何事も得た情報を鵜呑みにして自分で考えることを忘れてはいけないということです。恐らくこれは、部活のことに通ずることなのかなと思います。それでは、皆さまの活躍を祈っております。

教育学部/国語/跳躍

走幅跳・5m80, 5m94 (2013) / 走高跳・1m45, 1m50 (2013) / 三段跳 11m09 / 100mH・17秒03

Ⅶ. 記録集

茨大記録 【男子】

種目	氏名	記録	期日	大会名	会場
100m	杉崎 弘周	10.51(+1.9)	1998/9/11	日本インカレ	国立競技場
200m	伊藤 太一	21.14(0.0)	2011/9/11	日本インカレ	KKWING
400m	今村 明彦	48.06	1994/9/9	日本インカレ	国立競技場
800m	今井 英明	1.53.9	1990/4/7	学連競技会	筑波
1500m	秋山 陽祐	3.56.42	2007/9/15	関東新人	国立競技場
3000m	秋山 陽祐	8.52.10	2009/4/12	県記録会	笠松
5000m	秋山 陽祐	14.52.16	2009/9/21	国公立 22 大	千葉県総合
10000m	秋山 陽祐	30.35.03	2007/12/22	松戸記録会	松戸
110mH	星 耕平	14.98(+0.4)	2012/8/29	国公立 22 大	仙台
400mH	神尾 伸也	52.53	1994/8/23	関東選手権	笠松
3000mSC	岡崎 浩樹	9.07.37	2008/8/24	関東選手権	笠松
5000mW	小向 瑞樹	24.40.48	2009/8/24	国公立 22 大	千葉県総合
10000mW	小向 瑞樹	49.38.28	2010/5/16	関東インカレ	国立競技場
4×100mR	成石・杉崎・大久保・神尾	40.75	1996/9/6	日本インカレ	国立競技場
4×200mR	浅井・佐藤・大久保・神尾	1.27.38	1995/5/28	リレー選手権	笠松
4×400mR	開・上杉・山本・和田	3.14.60	2008/5/25	関東インカレ	国立競技場
4×800mR	中村・飯塚・林・神尾	7.54.72	1994/5/29	リレー選手権	笠松
4×1500mR	滝沢・根本・千葉・金沢	16.38.08	1981/4/18	リレー選手権	笠松
スウェーデン R	浅井・成石・大久保・岡	1.57.44	1996/5/26	リレー選手権	笠松
走高跳	青木 博光	2m00	1985/9/8	関東選手権	小瀬
棒高跳	岡山 進也	4m90	2001/5/26	リレー選手権	笠松
走幅跳	佐藤 良雄	7m09(?)	1958/7/19	茨城県選手権	土浦
三段跳	吉野 学	14m81(+1.6)	2005/5/13	関東インカレ	国立競技場
砲丸投	海老原大輔	15m02	2005/8/20	関東選手権	敷島
円盤投	ホアン・テ・ウエン	40m84	2010/8/7	千葉対校	笠松
ハンマー投	小林 朋寛	47m61	2013/8/3	千葉対校	笠松
やり投	渡邊 将司	66m94	2000/10/19	国公立 21 大	小瀬
十種競技	渡邊 将司	6676 点	1999/7/17・18	栃木県選手権	宇都宮
5km	富井 一仁	16.18	2011/2/20	結城シルクカップ	結城
10km	千葉 雅昭	31.20	1981/2/11	勝田マラソン	ひたちなか
20km	渡辺 雄馬	1:03.29	2006/10/21	箱根駅伝予選会	昭和記念公園
30km	鈴木徳次郎	1:41.12	1973/2/17	青梅マラソン	青梅
ハーフマラソン	秋山 陽祐	1:09.27	2008/3/9	日本学生ハーフ	昭和記念公園
マラソン	秋山 陽祐	2:24.46	2008/1/27	勝田マラソン	ひたちなか

茨大記録 【女子】

種目	氏名	記録(風速)	期日	大会名	会場
100m	鈴木 麻理	12.10(+0.8)	2010/10/24	北関東五大学	宇都宮
200m	鈴木 麻理	24.52(+0.1)	2010/10/24	北関東五大学	宇都宮
400m	肥田埜里枝	56.04	2013/8/10	N.S.S.U オープン	日体大
800m	石澤ゆかり	2.10.95	2010/9/26	国公立 22 大学	三ツ沢
1500m	野田 春香	4.33.51	2007/9/28	国公立 22 大学	緑が丘
3000m	石澤ゆかり	9.41.49	2010/11/20	日体大競技会	日体大
5000m	野田 春香	16.28.82	2008/7/13	ホクレンディスタンス	北海道
10000m	黒澤 夏楠	33.35.75	2013/11/23	10000m 記録挑戦競技会	国立競技場
100mH	石川ちひろ	14.07(+1.5)	2006/6/10	日本インカレ	日産スタジアム
400mH	石川ちひろ	61.34	2005/9/18	国公立 22 大学	国立競技場
4×100mR	酒井・鈴木・山口・肥田埜	47.67	2012/7/5	茨城県選手権	小吹
4×200mR	黒川・大内・長谷川・呉	1.48.72	1994/5/29	リレー選手権	笠松
4×400mR	林田・鈴木・肥田埜・小島	3.49.50	2012/9/9	日本インカレ	国立競技場
4×800mR	深谷・飯嶋・小林・柴	9.42.31	1994/5/29	リレー選手権	笠松
スウェーデンR	黒川・呉・長谷川・柴	2' 22" 05	1994/5/29	リレー選手権	笠松
走高跳	森 あゆ美	1m73	2008/8/26	関東甲信越	熊谷
棒高跳	山内 裕香	3m52	2012/7/6	茨城県選手権	小吹
走幅跳	山口 真未	5m81(-1.3)	2013/8/10	N.S.S.U オープン	日体大
三段跳	遠藤 園子	12m80(+0.7)	2013/10/14	国公立 23 大学	町田
砲丸投	城所 舞	12m33	2011/8/16	千葉対校	千葉
円盤投	梅原 由香	45m84	1997/8/23	国体予選	笠松
やり投	高村理恵子	41m77	2000/6/18	北関東五大学	小吹
ハンマー投	弓削真理子	51m33	2010/5/3	日体大競技会	日体大
七種競技	山口 真未	4934 点	2013/9/6・7	日本インカレ	国立競技場
10km	野田 春香	34.16	2008/1/27	勝田マラソン	ひたちなか
ハーフマラソン	黒澤 夏楠	1 : 14.06	2013/3/17	まつえレディース	島根
フルマラソン	野田 春香	2 : 42.19	2009/1/25	勝田マラソン	ひたちなか

2013 年度ランキング

【男子】

種目	順位	氏名	記録
100m	1	伊藤 太一	10.59(+1.5)
	2	宮本 秀斗	11.10(+1.3)
	3	沖崎 一也	11.19(0.0)
200m	1	伊藤 太一	21.53(0.0)
	2	宮本 秀斗	22.22(0.0)
	3	伊藤林大郎	22.62(+1.1)
400m	1	福田 智仁	50.25
	2	柴 俊博	51.43
	3	川部 優太	51.79
800m	1	小澤晃太郎	1.57.53
	2	奥山 康太	2.00.62
	3	城石 俊朗	2.05.93
1500m	1	加藤 俊介	4.05.20
	2	平塚 悠太	4.06.07
	3	小澤晃太郎	4.14.53
5000m	1	加藤 俊介	15.58.55
	2	平塚 悠太	15.59.07
	3	山本 智晴	16.11.99
10000m	1	山本 智晴	34.33.70
110mH	1	星 耕平	15.13(-0.1)
	2	本圖 理彦	15.45(-1.0)
	3	村山 靖真	16.10(-0.1)
400mH	1	川部 優太	55.65
	2	星 耕平	56.89
	3	本圖 理彦	58.57
3000mSC	1	平塚 悠太	9.59.67
	2	菊池 直人	10.12.43
	3	金田 祐輔	10.12.89
4×100mR	1	伊藤・伊藤・宮本・沖崎	41.27
	2	沖崎・伊藤・星・宮本	41.91
	3	伊藤・伊藤・柴・沖崎	41.95
4×400mR	1	沖崎・宮本・川部・福田	3.20.51
	2	伊藤・宮本・福田・沖崎	3.20.61
	3	沖崎・宮本・柴・川部	3.21.62
走高跳	1	木村 大介	1m70
	2	栗原 航介	1m55
	3	堀尾 佳希	1m50
棒高跳	1	青柳 達也	4m30
	2	沖崎 一也	4m20
		堀尾 佳希	4m20
走幅跳	1	沖崎 一也	6m56(+0.1)
	2	近藤 顕二	6m32(+1.1)
	3	堀尾 佳希	5m88(-0.9)
三段跳	1	沖崎 一也	13m66(0.0)
	2	青柳 達也	12m58(+0.8)
	3	栗原 航介	12m20(+1.7)
砲丸投	1	小林 朋寛	10m38
	2	近藤 顕二	9m73
	3	堀尾 佳希	8m94
円盤投	1	近藤 顕二	32m42
	2	小林 朋寛	27m12
	3	堀尾 佳希	24m11
ハンマー投	1	小林 朋寛	47m61
やり投	1	近藤 顕二	60m81
	2	堀尾 佳希	44m82
	3	伊藤 太一	44m79
十種競技	1	木村 大介	5014点
	2	堀尾 佳希	4001点
フルマラソン	1	加藤 俊介	4:15.18
	2	齋藤 圭介	4:45.47
	3	城石 俊朗	4:59.45

【女子】

種目	順位	氏名	記録
100m	1	肥田埜里枝	12.83(-2.2)
	2	遠藤 園子	12.90(-4.4)
	3	酒井くるみ	13.02(-0.4)
200m	1	肥田埜里枝	25.11(-0.9)
	2	加藤 佑実	26.99(-1.5)
	3	山屋 瑛美	27.12(-0.4)
400m	1	肥田埜里枝	56.04
	2	鈴木 杏奈	61.80
	3	山屋 瑛美	63.46
800m	1	大貫 綾子	2.25.18
	2	黒澤 夏楠	2.25.41
	3	木村 世奈	2.27.13
1500m	1	黒澤 夏楠	4.41.82
	2	木村 世奈	4.53.62
	3	高野 美幸	4.58.66
3000m	1	黒澤 夏楠	10.14.55
	2	木村 世奈	10.40.67
	3	高野 美幸	11.03.93
5000m	1	黒澤 夏楠	16.37.60
	2	木村 世奈	17.42.78
10000m	1	黒澤 夏楠	33.35.75
	2	木村 世奈	37.02.57
100mH	1	山口 真未	14.79(+0.9)
	2	酒井くるみ	15.57(+0.2)
400mH	1	酒井くるみ	64.31
	2	鈴木 杏奈	72.63
4×100mR	1	酒井・山屋・加藤・遠藤	48.56
	2	酒井・肥田埜・加藤・山屋	48.65
	3	酒井・肥田埜・山屋・遠藤	49.24
4×400mR	1	肥田埜・山屋・鈴木・酒井	3.56.63
	2	鈴木・山屋・酒井・肥田埜	3.56.81
	3	鈴木・酒井・加藤・山屋	4.02.05
走高跳	1	山口 真未	1m63
	2	宮本 蘭子	1m50
棒高跳	1	山内 裕香	3m40
走幅跳	1	山口 真未	5m81(-1.3)
	2	遠藤 園子	5m50(+0.9)
	3	山内 裕香	4m47(-0.8)
三段跳	1	遠藤 園子	12m80(+0.7)
	2	宮本 蘭子	9m22(+0.1)
砲丸投	1	山口 真未	11m37
	2	星野 千恵	9m32
	3	安田 萌	8m62
円盤投	1	星野 千恵	38m66
	2	安田 萌	28m99
	3	友常 結衣	22m67
ハンマー投	1	星野 千恵	45m00
	2	友常 結衣	22m48
やり投	1	安田 萌	40m47
	2	友常 結衣	38m44
	3	山口 真未	37m43
七種競技	1	山口 真未	4934点
ハーフマラソン	1	黒澤 夏楠	1:14.06
フルマラソン	1	木村 世奈	2:54.18
	2	黒澤 夏楠	3:10.57

対校戦順位

順位	男子			女子		
	総合	トラック	フィールド	総合	トラック	フィールド
第 62 回関東甲信越大学体育大会 (男子総合 6 位・女子総合 3 位)						
1	筑波大	横浜国立大	筑波大	都留文大	都留文大	山梨大
2	横浜国立大	筑波大	横浜国立大	横浜国立大	横浜国立大	横浜国立大
3	群馬大	群馬大	都留文大	茨城大	茨城大	宇都宮大
第 28 回国公立 23 大学対校陸上競技大会 (男子総合 10 位・女子総合 5 位)						
1	東京学芸大	東京学芸大	東京学芸大	福島大	福島大	福島大
2	横浜国立大	横浜国立大	横浜国立大	東京学芸大	東京学芸大	東京学芸大
3	福島大	福島大	群馬大	横浜国立大	都留文大	都留文大
第 64 回北関東五大学対校陸上競技大会 (男子総合 2 位・女子総合 1 位)						
1	群馬大	群馬大	群馬大	茨城大	茨城大	宇都宮大
2	埼玉大	埼玉大	埼玉大	埼玉大	埼玉大	茨城大
3	茨城大	茨城大	茨城大	宇都宮大	宇都宮大	群馬大
第 68 回三浜駅伝競走大会 (一般男子の部【1 部】3 位)						
1	那須塩原市 陸協					
2	我流 A C					
3	茨城大					
第 14 回荒川河川敷対校駅伝競走大会 (男子総合 14 位・女子総合 1 位)						
1	東京工業大			茨城大		
2	埼玉大			埼玉大		
3	首都大			首都大		
第 11 回国公立 23 大学対校駅伝競走大会 (男子総合 17 位・女子総合 2 位)						
1	東京工業大			東京学芸大		
2	信州大			茨城大学		
3	東京学芸大			都留文大		

Ⅷ. 部員名簿

学年	氏名	出身校/出身地	ブロック	学部/学科
院2	遠藤 園子	利 府/宮 城	跳躍	教育/保健体育
院2	松村 俊	緑 岡/茨 城	短距離	理工/電気電子
院1	青柳 達也	佐 原/千 葉	跳躍	理工/物 理
院1	栗原 航介	石 橋/栃 木	跳躍	理工/都市シス
4年	石津美阿里	波崎柳川/茨城	マネージャー	教育/養護教諭
4年	伊藤 太一	桜ノ牧/茨 城	短距離	教育/保健体育
4年	加藤 俊介	日立一/茨 城	中長距離	教育/スポーツ
4年	川部 優太	桜ノ牧/茨 城	短距離	工 /都市シス
4年	木村 世奈	太田一/茨 城	中長距離	教育/心 理
4年	黒澤 夏楠	茨城リサ/茨城	中長距離	教育/健 康
4年	小林 朋寛	旭川西/北海道	投擲	教育/スポーツ
4年	齋藤 圭介	桜ノ牧/茨 城	中長距離	人文/社 会
4年	柴 俊博	下妻一/茨 城	短距離	教育/理 科
4年	城石 俊朗	富山南/富 山	中長距離	理 /物 理
4年	宮岡 仁美	水戸一/茨 城	マネージャー	教育/養護教諭
4年	肥田埜里枝	竜ヶ崎一/茨城	短距離	教育/数 学
4年	星野 千恵	竜ヶ崎一/茨城	投擲	教育/保健体育
4年	山口 真未	聖 徳/茨 城	跳躍	教育/健 康
4年	山屋 瑛美	緑 岡/茨 城	短距離	教育/社 会
3年	大貫 綾子	日立一/茨 城	中長距離	教育/保健体育
3年	金田 祐輔	日立一/茨 城	中長距離	工 /都市シス
3年	酒井くるみ	土浦日大/茨城	短距離	教育/環 境
3年	萩野谷安己帆	佐 和/茨 城	マネージャー	人文/社 会
3年	星 耕平	会 津/福 島	短距離	人文/社 会
3年	本図 理彦	新発田/新 潟	短距離	工 /電気電子
3年	谷貝 脩平	緑 岡/茨 城	短距離	人文/社 会
3年	安田 萌	竜ヶ崎一/茨城	投擲	教育/保健体育
2年	荒井 啓輔	竜ヶ崎一/茨城	投擲	教育/保健体育
2年	伊藤林大郎	山形東/山 形	短距離	教育/保健体育
2年	沖崎 一也	埼玉栄/埼 玉	跳躍	工 /都市シス
2年	奥山 康太	山形南/山 形	中長距離	理 /地球環境
2年	佐々木一樹	葵 陵/茨 城	中長距離	工 /生体分子
2年	猿田 康陽	太田一/茨 城	短距離	工 / マテ工
2年	永瀬麻梨凜	並 木/茨 城	中長距離	教育/健 康
2年	平沼 清一	鉾田一/茨 城	短距離	教育/技 術
2年	福田 智仁	太田一/茨 城	短距離	人文/ 人コミ
2年	村山 靖真	竜ヶ崎一/茨城	短距離	人文/社 会
2年	加藤 佑実	茨城リサ/茨城	短距離	教育/健 康
2年	杉浦ちはる	豊島学院/東京	短距離	教育/健 康
2年	畠山 明子	富 士/静 岡	短距離	教育/養護教諭

学年	氏名	出身校/出身地	ブロック	学部/学科
2年	山内 裕香	聖 徳/茨 城	跳躍	教育/スポーツ
1年	荒井 芽衣	白 河/福 島	中長距離	教育/養護教諭
1年	内田 拓人	竹 園/茨 城	中長距離	教育/保健体育
1年	小澤晃太郎	日立一/茨城	中長距離	教育/保健体育
1年	堅野 里桜	佐 竹/茨 城	中長距離	教育/健 康
1年	菊池 直人	水戸三/茨 城	中長距離	教育/保健体育
1年	木村 大介	小 瀬/茨 城	跳躍	工 /機 械
1年	渋谷 弥生	青 森/青 森	マネージャー	人文/ 人コミ
1年	鈴木 杏奈	矢板東/栃 木	短距離	教育/保健体育
1年	高野 美幸	磐 城/福 島	中長距離	教育/健 康
1年	友常 結衣	土浦湖北/茨城	投擲	教育/健 康
1年	長谷川大輔	三 条/新 潟	中長距離	理 /地球環境
1年	平塚 悠太	佐 和/茨 城	中長距離	工 /都市シス
1年	藤井 駿丞	熊 谷/埼 玉	中長距離	人文/ 人コミ
1年	堀尾 佳希	須 坂/長 野	跳躍	工 /都市シス
1年	宮本 秀斗	竜ヶ崎一/茨城	短距離	教育/保健体育
1年	宮本 蘭子	緑 岡/茨 城	跳躍	教育/保健体育
1年	安井 智哉	明 星/東 京	短距離	理 /物 理
1年	柳町 直	竜ヶ崎一/茨城	中長距離	教育/保健体育
1年	山本 智晴	宇 和/愛 媛	中長距離	理 /数 学

編集後記

まず、部誌の発行にご協力してくださった皆様ありがとうございました。今年度も無事に部誌を発行することができました。2013年度は日本学生陸上競技対校選手権大会において女子三段跳で遠藤が7位入賞し、その他の対校戦でも茨城大学新記録が出るなど良い結果を出すことができました。

来年度は皆様にさらに良い結果報告ができるように、部員一丸となって練習にひたむきに取り組みたいと思います。

(文責：福田智仁)

茨城大学陸上競技部に関するお問い合わせ

陸上競技部に関するご意見・ご質問は、ホームページ内の掲示板、もしくは、顧問の上地までよろしくお願いたします。皆様からの情報をお待ちしております。

ホームページ URL

<http://18.pro.tok2.com/~ibadaitandclub/>

顧問 上地 勝

〒310 - 8512 水戸市文京 2-1-1

茨城大学教育学部

Tel: 029-228-8477 (研究室)

Fax: 029-228-8478 (体育事務室)

e-mail: mueji@mx.ibaraki.ac.jp

茨苑 AC に関するお問い合わせ

〒310 - 0852 水戸市笠原町 979-16

Tel: 029-244-1036

益子 雄行

茨城大学陸上競技部部誌「Perspiration」第8号

平成 26 年 3 月 22 日発行

編集責任者

福田智仁・村山靖真

発行者 茨城大学陸上競技部